

医療救護所における 医療救護班等活動マニュアル

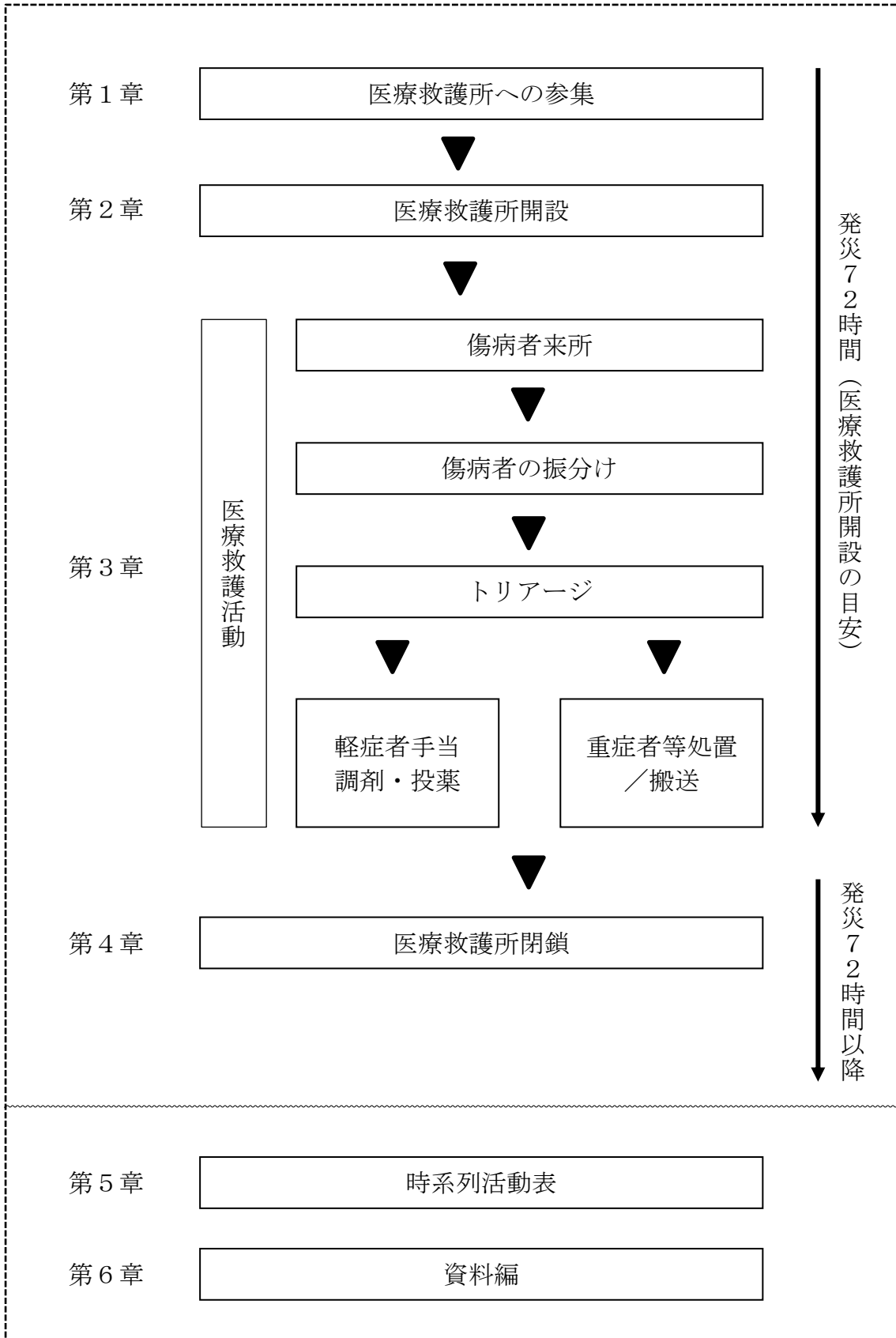
令和4年3月

練馬区災害医療運営連絡会

目次

医療救護活動の流れ	1
災害医療の7つのキーワード	2
医療救護活動の指揮命令系統図	3
第1章 医療救護所への参集	4
1 参集条件	4
2 参集準備	5
3 責任者の決定	5
4 医療救護所の運営従事者	6
第2章 医療救護所開設	7
1 施設の安全確認	8
2 医療救護所の開設	8
3 開設等の報告	8
第3章 医療救護活動	9
1 傷病者来所	10
2 傷病者の振分け	10
3 トリアージ	11
4 軽症者手当／調剤・投薬	14
5 重症者等処置／搬送	15
6 医療救護所本部（記録係）運営	16
7 医療救護所における新型コロナウイルス感染症等感染対策	17
第4章 医療救護所閉鎖	19
1 医療救護所の閉鎖	17
第5章 時系列活動表	20
四師会の時系列活動表	20
第6章 資料編	24
1 連絡先一覧	24
2 医療救護所の運営様式（様式1～9）	27
3 医療救護所配置図	41
4 備蓄医療資器材等一覧	42
5 備蓄医薬品一覧	48
6 医療救護所アクションカード	50

医療救護活動の流れ



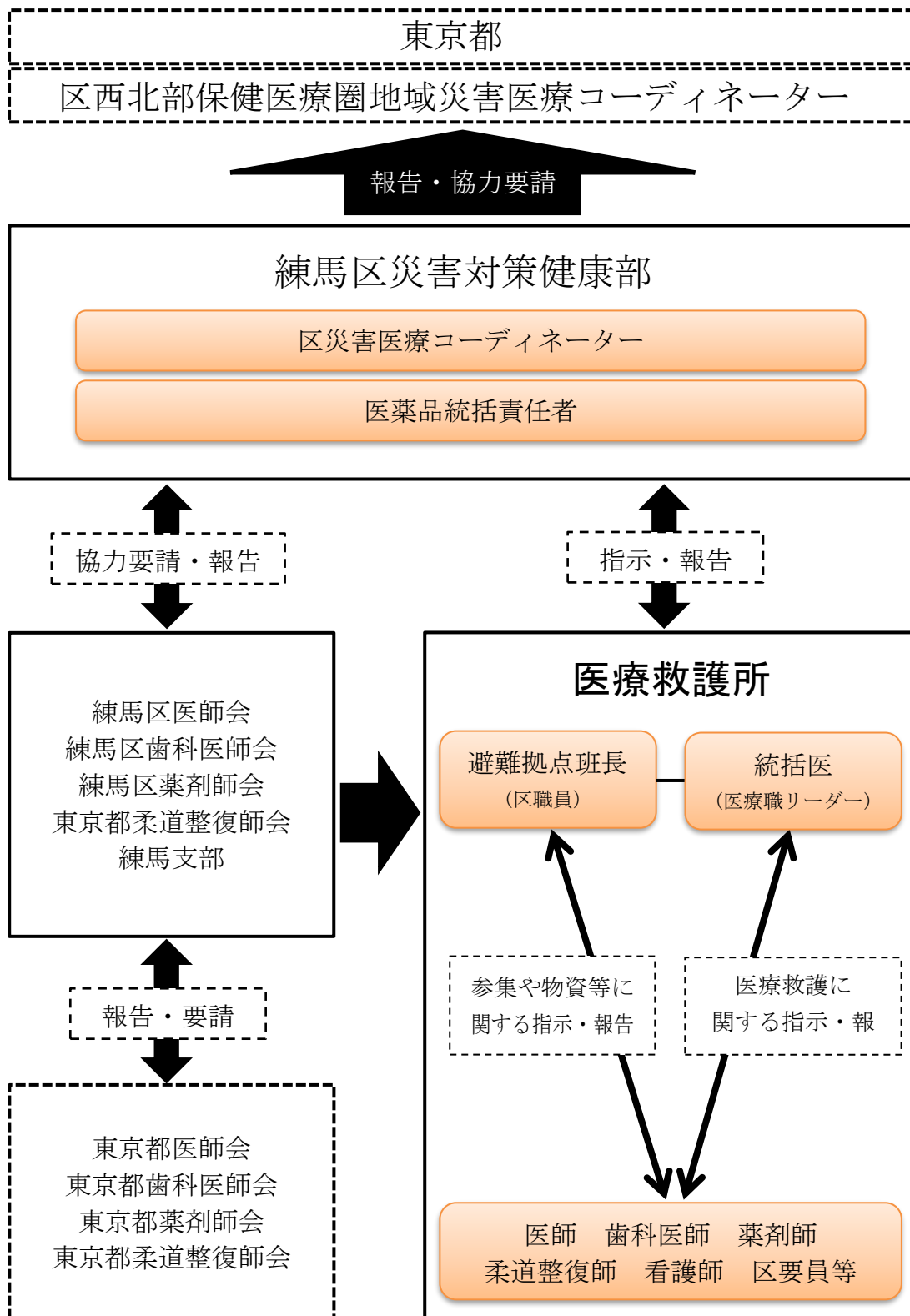
災害医療の実践として大切なキーワードとして「CSCATT」というものがあります。多数傷病者が発生する事故の際に医療従事するものが対応するための戦術的な実践方法を示した言葉です。この活動マニュアルはこのキーワードを基本に作成しています。

災害医療の7つのキーワード（東京都福祉保健局トリアージハンドブックより）

組織体制	C	Command&Control	指揮命令系統・統制
	S	Safety	安全確保
	C	Communication	優先情報の確認・収集、意思疎通、情報伝達
	A	Assessment	評価・判断
医療支援	T	Triage	トリアージ
	T	Treatment	治療
	T	Transport	搬送

- 「C」…災害発生時の急性期に迅速な医療活動を行うためには、組織化された指揮命令系統の確立が混乱を防ぎ、組織間の相互協力体制を確立します。
- 「S」…安全に活動できないと判断される場合は、関係機関へ通報するとともに、安全が確保されるまで現場から避難します。
- 「C」…テレビ、ラジオ、スマホなどを使用し、現状の把握、医療関係者・警察・消防・救援機関との意思疎通・情報伝達に努めます。
- 「A」…災害現場や現場救護所の状況、救護力や人的資源、医療資器材の備蓄状況などを判断します。
- 「T」…負傷者のトリアージを行い、応急処置の優先度（緊急度）や搬送順位を決定します。
- 「T」…トリアージで緊急度の高い傷病者から応急処理を行います。
- 「T」…搬送先医療機関の状況や収容力等を考慮し、後方搬送・広域搬送を行います。

医療救護活動の指揮命令系統図

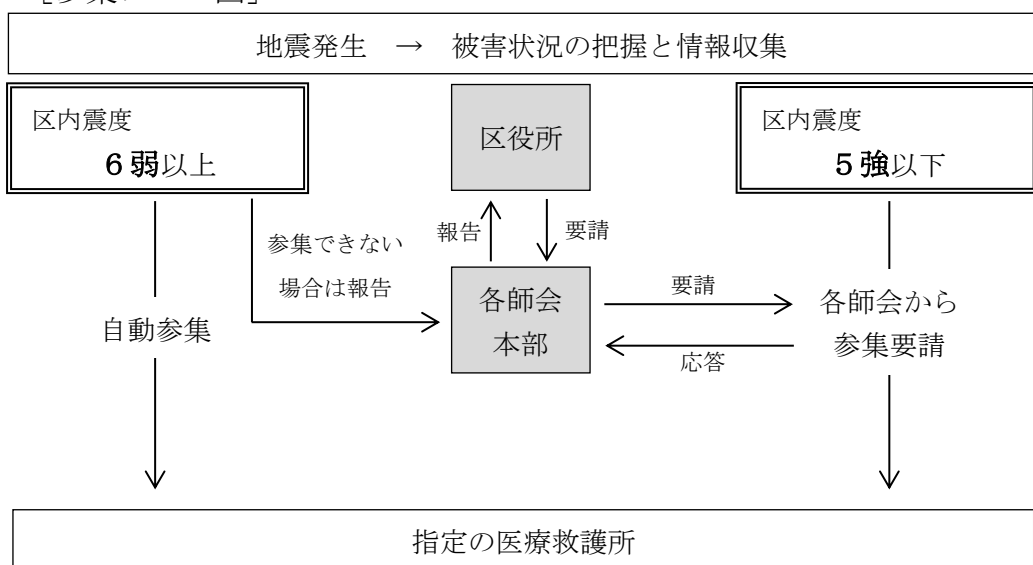


第1章 医療救護所への参集

1 参集条件

練馬区内で震度6弱以上の地震が発生した場合は、各師会要員は指定された医療救護所（区内10か所の小・中学校）へ自動参集します。震度5強以下の場合でも、災害対策健康部（練馬区）からの要請に基づき、各師会本部を通じて参集指示があります。自身が勤務する診療所等には、行先を掲示するなどして参集します。

[参集フロー図]



指定の医療救護所				
No.	医療救護所	所在地	電話番号	無線番号
1	旭丘中学校	旭丘2-40-1	3957-3133	ねりま 961
2	開進第三中学校	桜台3-28-1	3993-4265	ねりま 967
3	貫井中学校	貫井2-14-13	3990-6412	ねりま 972
4	練馬東中学校	春日町2-14-22	3998-0231	ねりま 971
5	光が丘秋の陽小学校	光が丘2-1-1	3976-6331	ねりま 978
6	石神井東中学校	高野台1-8-34	3996-2157	ねりま 980
7	谷原中学校	谷原4-10-5	3995-8036	ねりま 985
8	大泉南小学校	東大泉6-28-1	3922-1371	ねりま 659
9	大泉西中学校	西大泉3-19-27	3921-7101	ねりま 989
10	石神井西中学校	関町南3-10-3	3920-1034	ねりま 981

なお、参集にあたっては、自身の安全はもちろん、家族の安全確保に努めてください。参集することが困難な場合には、各師会本部に連絡し、対応方法について指示を仰いでください。

避難拠点要員は、参集後、以下の名簿を作成します。

- ① 避難拠点要員の参集簿（様式1）
- ② 参集する四師会の要員の参集簿（様式2）

2 参集準備

参集にあたっては、活動しやすい服装で、最低限の食料などを持参します。医療救護所の開設期間の目安は概ね72時間で、要員の交代やローテーションも行う予定です。

3 責任者（統括医）の選定

避難拠点要員の班長が医療救護所の運営の中心となりますが、医療救護活動の責任者は、医療救護班の統括医が担います。統括医はトリアージ、応急処置、災害時医療機関への転送など医療に関することの指示を行います。各師会は、医療救護活動の指揮命令権者である統括医の指示がうまく伝わるよう各師会内でもそれぞれ責任者（リーダー）を決定します。

なお、統括医の選定は、参集した医師の中から決め、一人勤務の場合は、そのまま統括医となります。

[統括医の役割]

医療救護活動の指揮命令権者。主な役割は以下のとおり。

- 各師会のリーダーと医療救護所内での活動内容について確認・調整する。
- 各持ち場に人員を割り振る。
（第2章 「2 医療救護所の開設準備」の例を参照）
- 各師会のリーダーに災害対策健康部からの情報を伝達する。
- 医療救護班の初日の24時間の交替勤務枠（8時間/1名当たり）を作る。
また遅れて参集した医師を順次勤務枠に割付け、8時間勤務後にはその内容を次の統括医に業務引継ぎする。
- 他の各師会リーダーへも同様に交替シフトの作成を呼びかける。
- 医療救護班の参集状況や傷病者の来所状況によっては、自ら診療を行う。

[避難拠点班長の役割]

医療救護所を含む避難拠点全体の責任者。主な役割は以下のとおり。

- 発災時に学校を開錠する。
- 避難拠点および医療救護所要員の参集者を確認し、区要員等の人員の割り振りをする。
- 避難拠点および医療救護所を開設する。

- 避難拠点および医療救護所の開設について、災害対策本部ならびに災害対策健康部に報告する。
- 統括医と連携し、重症者の搬送等の調整を災害対策健康部と行う。
- 避難拠点および医療救護所の閉鎖について、災害対策本部ならびに災害対策健康部と協議する。

4 医療救護所の運営従事者

医療救護所において、医療救護活動等の従事者は次のとおりです。

従事者	説明
避難拠点要員（区職員）	近隣在住または近隣施設職員
避難拠点要員（学校職員）	避難拠点となる学校職員
医師会	近隣診療所等の医師
歯科医師会	近隣歯科診療所の歯科医師
薬剤師会	近隣薬局の薬剤師
柔道整復師会	近隣接骨院の柔道整復師
医療救護所医療従事スタッフ※	区内および近隣に在住・在勤の(准)看護師
避難拠点運営連絡会	避難拠点の運営連絡会の区民

避難拠点要員は、医療救護所の従事者名簿（様式1、様式2）をまとめ、災害対策健康部に従事者の参集状況を報告します。

※医療救護所医療従事スタッフ：

震度6弱以上の地震が発生した際に、医療救護所で活動する（准）看護師のこと。本人確認や看護師資格の確認が済んでいる者には、下記の登録者カードを発行しており、持参し、提示することで参集と同時に活動に入れることになっています。

医療スタッフカードイメージ



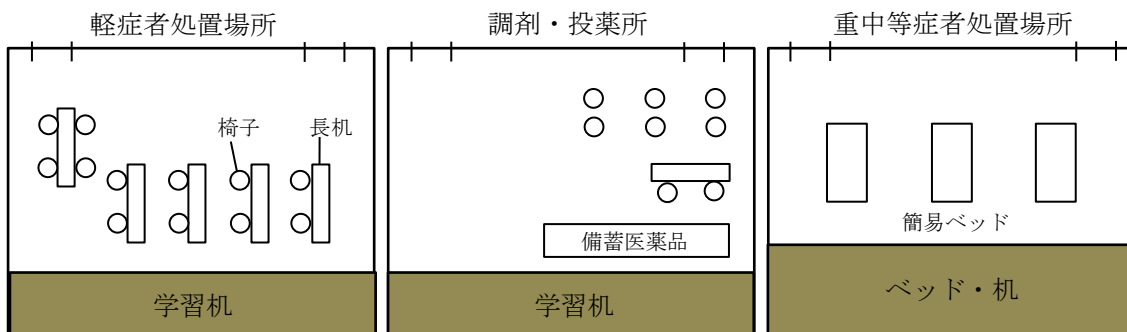
第2章 医療救護所開設

震度6弱以上の地震が発生！

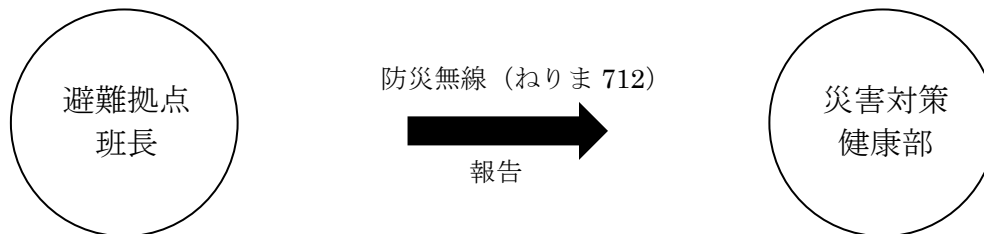


医療救護所運営従事者が自動参集

- 1 施設の安全確認
- 2 医療救護所の開設準備
(医療救護所で使用する教室等例)



- 3 開設等の報告



1 施設の安全確認

区内震度5弱以上の地震が発生すると、避難拠点要員（区職員・学校職員）等（以下、「区要員等」という。）が指定された小中学校に参集します。夜間等で学校が閉校している際には、学校関係者または班長が開錠し、施設の立ち上げ準備を行います。その場合、区要員等はあらかじめ定められた医療救護所として使用する体育館や教室棟等が使用できるかの安全確認をします。

2 医療救護所の開設準備

施設の安全確認が完了すると、区要員等は避難拠点および医療救護所の開設のための準備を始めます。

医療救護所には、次のような場所を設置します。

〔 傷病者振分け場所 軽症者処置場所 トリアージポスト
重・中等症者処置場所 調剤・投薬所 医療救護所本部（記録係） 〕

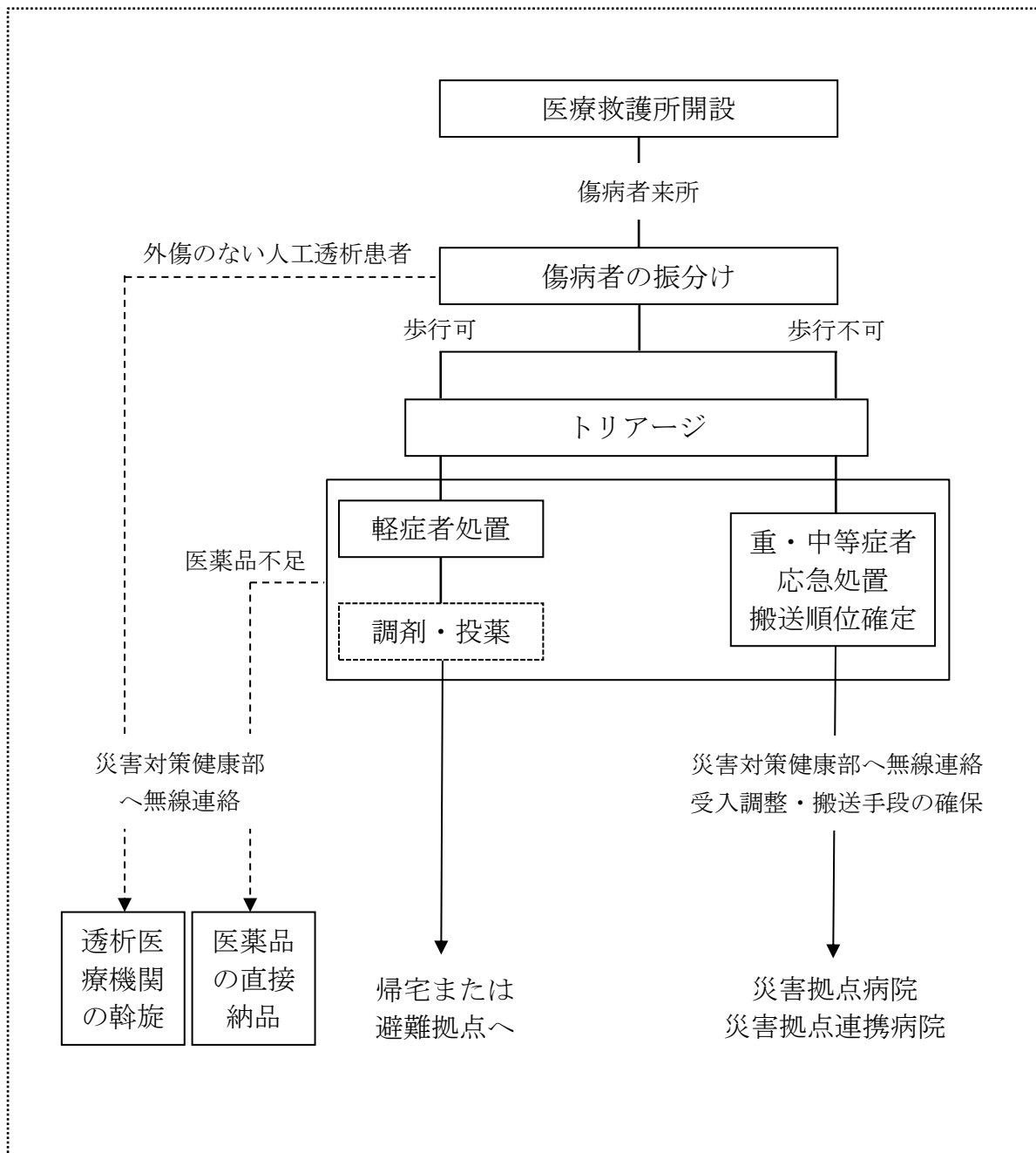
医療救護班班員は、レスキューカーや車椅子通行のスペースを確保するなど動線等にも配慮し、区要員等の設営に助言をします。薬剤師班は、備蓄医薬品を医療救護所備蓄庫から取り出し、「調剤・投薬所」や「重中等症者処置場所」に配備します。

3 開設等の報告

班長は、医療救護所が開設したことを防災無線により災害対策健康部へ連絡するよう区要員に指示します。その際、あわせて参集人員数、傷病者数なども連絡します。（様式3）（様式4）

※災害対策健康部 無線番号「ねりま712」

第3章 医療救護活動



※医療救護所における各活動については、医療救護所倉庫に格納している医療救護所アクションカードにまとめています。(→P50 資料編 医療救護所アクションカード参照)

1 傷病者来所

東京都の被害想定によると、多摩直下地震（M7クラス）が起こった場合、練馬区内では、最大5,389名の負傷者が発生するとしています。およそ1割の重症者は、災害拠点病院や災害拠点連携医療機関で治療を行いますが、それ以外の患者は、医療救護所やそのほかの医療機関（災害医療支援医療機関や地域の診療所）で対応しなければなりません。10の医療救護所と11の災害医療支援医療機関で対応すると仮定すると、医療救護所1か所当たり230～250名程の傷病者の来所が予想されます。

区要員等は、来所した避難者をケガの有無により避難場所または医療救護所へそれぞれ案内、誘導します。（→P24 資料編 災害時医療機関参照）

2 傷病者の振分け

来所した傷病者を、区要員等を中心に軽症者と重症者等に振り分けます。振分けの基準は歩行の可否によります。歩行ができる軽症者については、トリアージポストへ案内します。歩行できない重症者等については、医療救護所に配備されている担架、防災会資器材庫に配備されているレスキューカー等、あるいは肩をかしながら、保健室などのトリアージポストに移送します。

※透析患者への対応

医療救護所で透析患者を受け入れた場合、かかりつけ透析医療機関や次回の透析の予定等を聴取します。その後、災害対策健康部が透析医療機関の受入状況を照会し、そこまでの通院手段について検討します。自力での通院が不可能な場合は、まず、かかりつけ透析医療機関や平常時に利用している搬送団体へ連絡してもらいます。通院手段が確保できない場合には、災害対策健康部を通じて、通院手段を確保します。

3 トリアージ

START 法 トリアージを用い、軽症者においては、治療の優先順位付けや容態変化患者の発見、重症者等においては、災害拠点病院等へ搬送する順位を確定し、応急処置へと移ります。トリアージの担い手は、医師や看護師、歯科医師をはじめとする医療職です。

<記入について>

トリアージは、傷病者の症状の程度により、重症者から災害時医療機関へ搬送し治療を行うためのものです。2人1組となり、トリアージタグに、まずは次の事項を記入します。

① 氏名	傷病者に尋ねて記入
② 年齢	
③ 性別	
④ トリアージ日時	
⑤ トリアージ実施者氏名	



次にトリアージを実施し、次の事項を記入します。





⑥ トリアージ区分
⑦ トリアージ実施者（医師、救急救命士、その他※） ※その他の場合は、職種を併記すること。



可能であれば、症状・傷病名や裏面の特記事項も記入します。



そして、症状により次の色タグを点線から切り離します。

判断	タグの色	
死亡	黒	
重症	赤	
中等症	黄	
軽症	緑	

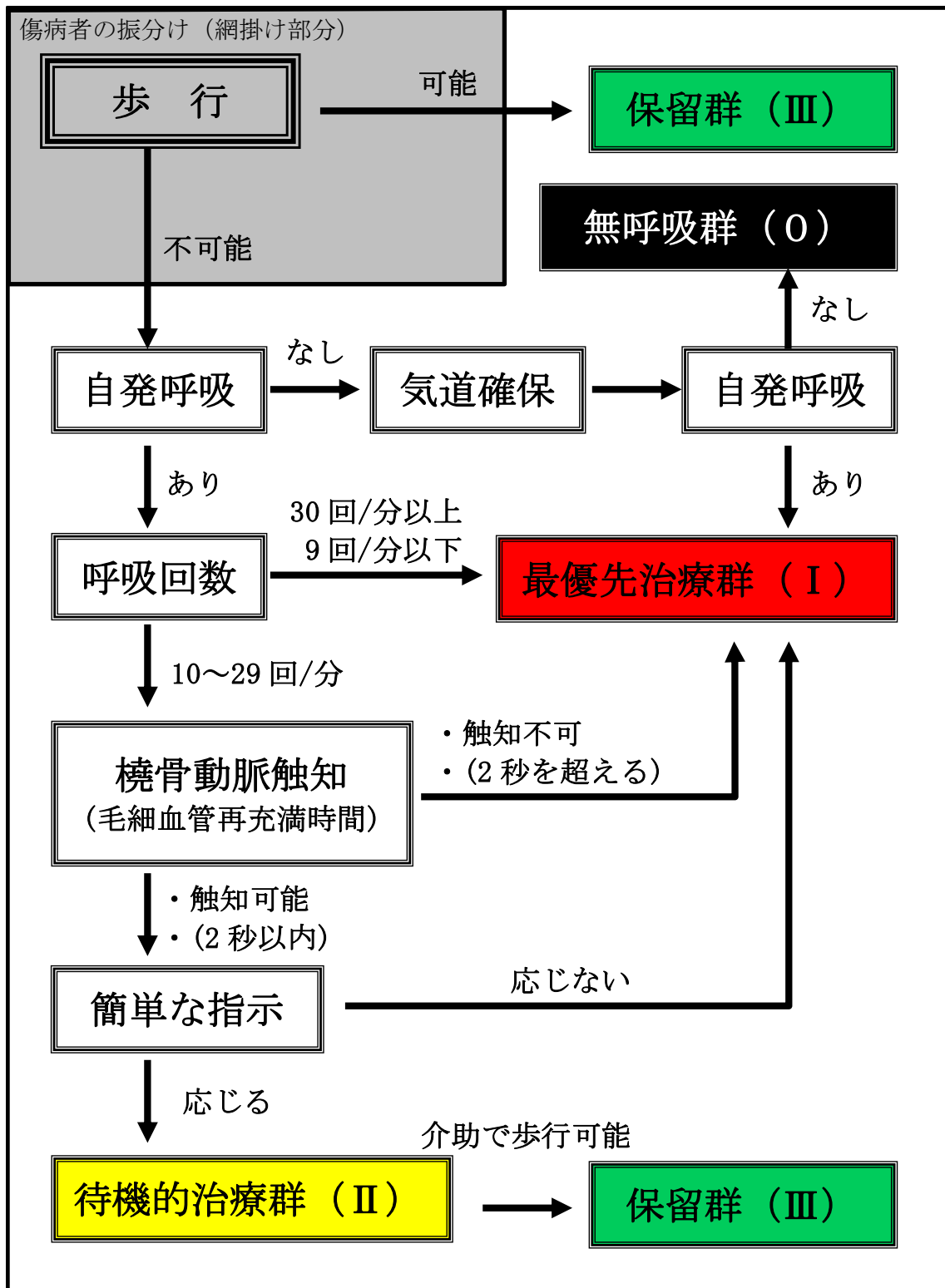
この判断は、START 法 トリアージに基づき判断します。



トリアージタグは原則として右手首につけます。この部分が負傷している場合には、左手首、右足首、左足首、首の順でつける部位を変えます。決して衣類や靴等にはつけないようにします。

最後に、表面の1枚目（災害現場用）シートを切り離し、切り離した色タグとともにトリアージタグを管理する医療救護所本部（記録係）に渡します。

START plus 法トリアージ



トリアージタグイメージ (表)

(災害現場用)			
No.	氏名 (Name)	年齢 (Age)	性別 (Sex)
1-1	ネリマ ハナコ	30	男 (M) 女 (F)
住所 (Address)		電話 (Phone)	
練馬区豊玉北 12-6-1		03-5984-1211	
トリアージ実施日・時刻		トリアージ実施者氏名	
4月11日 AM 11 14 PM 12 30分		ネリマ ネリオ ヘイワ ダイ	
搬送機関名		收容医療機関名	
トリアージ実施場所		トリアージ区分	
○○○中学校		0 ① ② ③	
トリアージ実施機関		医師 診療士 その他	
○○○中歯科医療救護班 ○○○中医療救護班		歯科医師	
症状・傷病名 両大腿骨複雑骨折 経過観察中意識消失			
特記事項 既往症：ぜんそく			

0

I

II


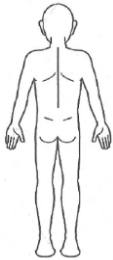
III

上記の例では、
“I” のため、
その下までモギる

※複写式です。1枚目「災害現場用」、2枚目「搬送機関用」、3枚目「收容医療機関用」の3枚構成です。

トリアージタグイメージ (裏)

特記事項		
バイタルサイン		
意識	I (2-3)	II (10-20-30) III (100-200-300)
呼吸	20 /分	呼吸困難 左右差あり(右→左→)
脈拍	90 /分	総頸・橈骨・大腿(強い・弱い)
皮膚	色(蒼白・普通) 温度(冷・普通・温) 状態(湿潤・普通)	
血圧	125 / 80 mmHg	リファリングタイム 2秒以上・2秒未満

0

I

II

III

※トリアージタグにより、記載項目の配置が異なる場合があります。

4 軽症者手当／調剤・投薬

(1) 軽症者手当

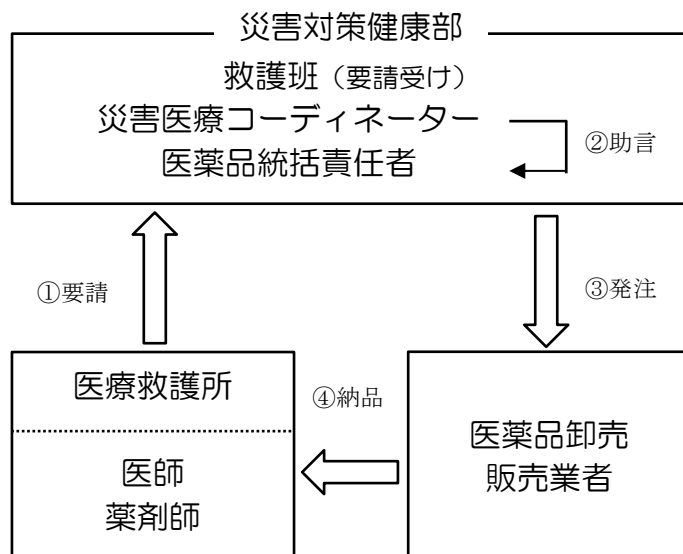
トリアージの結果、軽症（緑色）と判断された方に対して、医師の指示のもと四師会要員が中心となって応急手当を行います。応急手当を行う際には、トリアージタグの記入に加えて、災害用カルテにも同時に記入します。（様式5）

医療救護所本部（記録係）の区要員は、軽症者一覧（様式7）の作成を行います。

(2) 調剤・投薬

各医療救護所には、患者約250人分を目安として医薬品が備蓄されています。（→P48 資料編 備蓄医薬品一覧）

薬剤師班は処方箋（様式6）にもとづき、調剤・投薬を行います。医療救護所の活動を行うための医薬品が不足した場合は、災害対策健康部へ補充要請を行います。災害対策健康部には、薬剤師会長が医薬品統括責任者として参集し、医薬品調達に関して練馬区災害医療コーディネーター※とともに調整をします。その後、医薬品卸売販売業者に発注し、直接、医療救護所に医薬品等を納品します。薬剤師班は補充された医薬品を受け入れたのち、医薬品の管理等を引き続き行います。



※練馬区災害医療コーディネーター

区内に震度6弱以上の大地震が発生した場合、災害医療コーディネーターは災害対策健康部（区役所）に参集し、活動を開始することとしています。

練馬区災害医療コーディネーターが行う主な業務は以下のとおりです。

- (1) 医療救護班等の活動に関する助言および調整を行うこと。

- (2) 医療救護所の開設、運営に関する助言および調整を行うこと。
- (3) 医薬品等の確保に関する助言を行うこと。
- (4) 傷病者の収容先医療機関の確保に関する助言および調整を行うこと。
- (5) 東京都地域災害医療コーディネーター等との連絡調整に関すること。
- (6) その他災害医療に関すること。

5 重症者等処置／搬送

- (1) 傷病者の振分けで歩行ができなかった傷病者については、トリアージ、応急手当を経て、災害拠点病院等へ搬送します。

【トリアージ】

重症者（赤色）、中等症者（黄色）と判断された方々の災害時医療機関への搬送順位を、重症度や専門治療の必要性により、決定します。



【災害時医療機関への受入れ要請】

班長は、通信担当を通じて災害対策健康部に対して、重症者や中等症者の受入れ調整や搬送手段の確保を要請します。



【搬送】

担架、レスキューカーまたは車両を活用し搬送します。区要員、学校要員、また、民間救急事業者の協力を得ながら行います。



【名簿作成】

重症者（赤色）、中等症者（黄色）の名簿（様式8）を医療救護所本部において作成し、誰がどこの災害時医療機関へ搬送されたのかをトリアージタグの1枚目（災害現場用）や搬送者カード（様式9）を用いて記録します。

【区外への患者移送】

区内の災害時医療機関で受入が困難な場合は、災害対策健康部で他区の医療機関への移送を要請します。

- (2) 派遣医療チームの要請

医療救護所の対応が現状のスタッフでは十分にできない場合、班長または統括医は、災害対策健康部または練馬区災害医療コーディネーターに応援の要請を行います。

6 医療救護所本部（記録係）運営

医療救護所本部の主な従事者は、避難拠点要員（区要員）等です。

まず、ホワイトボード等記入や貼付ができるものを用意します。担当業務は以下の通りです。

(1) 用意したホワイトボード等に時系列で出来事を記入していきます。

(例)		<u>ホワイトボード</u>		
時間	発信	受信	内容	備考
8:00			発災 震度6強	
10:00	班長	災対本部	医療救護所開設報告	

(2) トリアージの際に、剥がし取られるトリアージタグの1枚目（災害現場用）の内容を傷病者受付一覧（様式7、様式8）に転記し、傷病者の受付と把握をします。転記が終了したトリアージタグの1枚目は、ホワイトボード等に貼付します。

(3) 手当が完了した後、軽症者はトリアージタグ本体と、また重中等症者は搬送者カード（様式9）と、それぞれ転記した傷病者受付一覧を照合し、一覧の消込みをします。それにより、傷病者の手当の状況を把握します。

(4) 消込みが完了したら、貼付されたトリアージタグの1枚目とトリアージタグ本体または搬送者カードをひとまとめにして保管します。

7 医療救護所における新型コロナウイルス感染症等感染対策

医療救護所においては、人員やスペースに制約があり、十分な感染症対策を取ることができません。ついては、新型コロナウイルス感染症の流行期においては、可能な限り、以下のような対応をお願いします。

(1) 従事者個人における対策

① 物品の着用

咳・発熱等の症状のある人や濃厚接触者と応対する際には、使い捨て手袋やマスク、フェイスシールド等を適切に選択し、着用します。

② 衛生管理

こまめに石けんで手を洗い、アルコール消毒をします。洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにします。

(2) 環境の整備

① 人と人の距離を取る

できる限り人と人の距離を取り、密集した空間を作らないよう配慮します。

② 換気

気候上可能な限り常時、困難な場合は、こまめに（30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する）2方向の窓を同時に開けて行うようにします。窓が一つしかない場合は、ドアを開けます。換気扇がある場合は、換気扇と窓の開閉を併用します。

③ 共用部分の消毒

複数の人が手で触れる共用部分を使い捨て手袋、マスク等を着用し、消毒します。頻度は、例えば2時間ごとなどルールを決めて行うことが望ましいです。

(3) 施設の使用について

参集している医療従事者等の人員数や使用できる学校施設のスペースにより、感染症疑い患者への対応方法は異なります。以下に、いくつかパターンを示しますので、現場の医療従事者の判断で対応方法を決定してください。判断に迷う場合は、災害医療コーディネーターにご相談ください。

【パターン1：通常対応】

通常どおりトリアージや診察、施術、調剤・投薬を行う。その患者の動線については、必要に応じて消毒を行う。

長所 追加の人員とスペースなしで対応できる。

短所 ゾーニングができていないため、感染対策が不十分。

【パターン2：隔離対応】

咳・熱症状者スペースに案内し、医療従事者が感染対策を講じた上で巡回または常駐し、健康観察や医療行為を行う。

長所 感染疑い患者を一般患者と分けられるため、十分な感染対策を行える。

短所 ・人員が少ない場合対応が難しい。
・ケガのない感染疑い患者との区分けができない。

【パターン3：半隔離対応】

各エリアの中において、咳・熱症状ありとなしで、パーティション等でスペースを区切り、人員も分割し対応する。

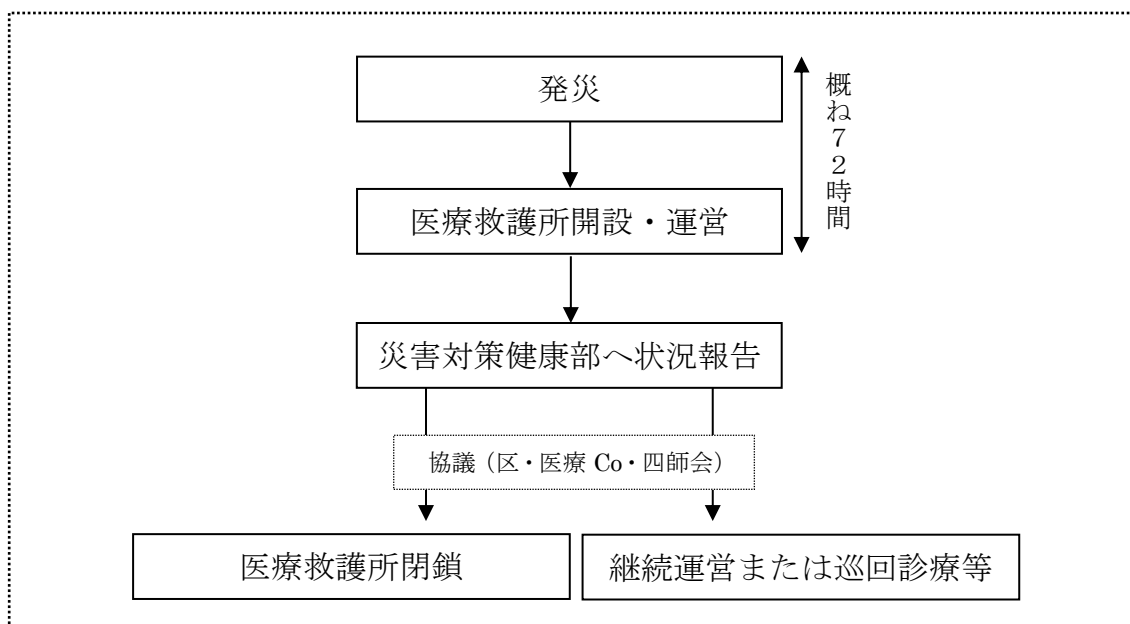
長所 **短所** パターン1と2の折衷案

(参考) 新型コロナウイルス感染症対策として使用できる物品

	品目	数量		品目	数量
1	パルスオキシメーター	1	2	体温計	4
3	酸素ボンベ (500L)	3	4	減圧弁	3
5	フェイスマスク	3	6	アイソレーションガウン	10
7	ヘアキャップ	10	8	不織布マスク	200
9	フェイスシールド	10	10	ポンチョ (雨具)	20
11	液体石けん	1	12	ペーパータオル (200枚)	2
13	ニトリル手袋 S	250	14	ニトリル手袋 M	750
15	ニトリル手袋 L	50	16	手指消毒ジェル (500ml)	20
17	消毒用エタノール (500ml)	4	18	ウエルパス手指消毒液 0.2%	1
19	次亜塩素酸ナトリウム	1			

※備蓄医療資器材等一覧から抜粋

第4章 医療救護所閉鎖



1 医療救護所の閉鎖

医療救護所は発災直後から概ね72時間開設されます。その後、災害対策健康部の指示に従い、医療救護所は閉鎖します。しかし、区が区災害医療コーディネーター等と協議し、必要と判断した場合は、被害の大きな地域の医療救護所にスタッフや医薬品等を集約するなど再編成して継続します。

その際、72時間以降の活動（避難拠点等に避難している方々の巡回診療や健康相談を行う場合も含む）に関しては、区が災害時の医療救護活動についての協定にもとづき四師会と協議し要員の派遣要請を再度行います。

また、傷病者へは、再開した近隣の医療機関（医院、歯科医院、接骨院、薬局）も案内します。

第5章 時系列活動表

四師会の時系列活動表

	医療救護班	歯科医療救護班	薬剤師班	柔道整復師班	備考
発災直後から参集まで	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定場所へ参集および本部への報告 ・ 「区災害医療コーディネーター（会長）」の災害対策健康部への参集 ・ 医療救護所の開設 ・ 医療救護班の統括医（医療職リーダー）を選任 <p>※医療救護班は参集後直ちに72時間の勤務表（8時間交替）を作成する。第一勤務枠に複数医がいる場合は統括医を選任する。一人医師の場合はそのまま統括医になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 治療器材の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定場所へ参集および本部への報告 ・ 医療救護所の開設 ・ リーダー選出と役割決め ・ 治療器材の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定場所へ参集および本部への報告 ・ 医薬品統括責任者（会長）の災害対策本部への参集 ・ 医療救護所の開設 ・ リーダー選出と役割決め ・ 備蓄医薬品の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定場所へ参集および本部への報告 ・ 医療救護所の開設 ・ リーダー選出と役割決め ・ 衛生材料の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 震度6弱以上で自動参集。5強以下であっても区からの要請があれば参集する。 ◆ 区災害医療コーディネーター（医師会会長、2拠点病院医師、保健所長）は、上記条件に従い参集する。

	医療救護班	歯科医療救護班	薬剤師班	柔道整復師班	備考
超急性期 (72時間まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所の運営 ・トリアージの実施 ・傷病者の応急処置 ・傷病者の搬送順位確定と搬送指示 ・死亡の確認 ・医療救護所の必要に応じた運営体制の見直し(増員や勤務交代など)が必要と判断した場合、統括医は避難拠点班長(区職員)へ災対本部への調整を要請 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所の運営 ・トリアージの実施 ・口腔内以外の簡易な応急処置 ・歯科治療を要する傷病者の応急処置 ・医療救護所の必要に応じた運営体制の見直し(増員や勤務交代など) ・検視・検案の法歯学上協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所の運営 ・トリアージの実施 ・軽症者の応急処置 ・傷病者に対する調剤・服薬指導 ・医薬品の供給(区を通じて医薬品卸売販売業者、薬剤師会、薬業協同組合に不足した医薬品の調達を依頼する) ・医薬品の仕分けと管理 ・医療救護所の必要に応じた運営体制の見直し(増員や勤務交代など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所の運営 ・トリアージの実施 <p>人員が不足した場合は、傷病者振分けを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示に従った負傷者に対する応急手当 ・手当に必要な衛生材料等の確保と管理ならびに労務の提供 ・医療救護所の必要に応じた運営体制の見直し(増員や勤務交代など) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆避難拠点の班長が救護所の施設管理責任者。 医療上の運営は、統括医(医療職リーダー)が責任者となる。 ◆災害対策健康部は、収集した情報を基に区災害医療コーディネーターの助言を踏まえ医療救護方針を定める。 ◆災害対策健康部は各情報を災対本部に報告するとともに、医療救護所、四師会、災害時医療機関等に伝達する。 ◆区災害医療コーディネーターは、区西北部医療コーディネーターに伝達し、応援要請や傷病者の収容・搬送を調整する。 ◆災害対策健康部は医療ボランティアの受付や救護所等への派遣を調整する。 ◆区外の派遣医療チームを要請する。

	医療救護班	歯科医療救護班	薬剤師班	柔道整復師班	備考
急性期 (7時間以降)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護班の再編成または解散 ・避難拠点等における巡回診療や定点診療、健康相談等の実施 ・治療が必要な人には再開した近隣の医療機関をあわせて紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療救護班の再編成または解散 ・避難拠点等における巡回診療や定点診療（歯科治療・衛生指導）、健康相談等の実施 ・診療が必要な人には再開した近隣の歯科医院をあわせて紹介 ・検視・検案の法歯学上協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師班の再編成または解散 ・避難拠点等における巡回診療や定点診療、健康相談等の実施 ・必要な人には再開した近隣の薬局をあわせて紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道整復師班の再編成または解散 ・避難拠点等における巡回診療や定点診療（応急手当、治療、リハビリ。マッサージやストレッチ等の施術やエコノミークラス症候群の防止活動など）、健康相談等の実施 ・必要な人には再開した近隣の整復師医院をあわせて紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ◆災害時の医療救護所への四師会からの派遣は72時間で一旦終了する。72時間以後の対策が必要な場合は、区は区災害医療コーディネーター、四師会等と協議をする。 ◆災害対策健康部は、収集した情報を基に区災害医療コーディネーターの助言を踏まえ医療救護方針を定める。

	医療救護班	歯科医療救護班	薬剤師班	柔道整復師班	備考
その他	<p>〔その他の参集〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点連携医療機関と専門医療拠点病院へ指定された医師会員はそれぞれ参集。 <p>(P22 災害時医療機関一覧を参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点連携医療機関と専門医療拠点病院に参集する医療救護班員の活動は当該病院長と協議して実施 	<p>〔練馬区歯科医師会災害対策本部の設置〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の歯科活動を統括する災害時体制組織を設置 <p>〔避難拠点・福祉避難所における活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の保健師等で編成する保健班が避難所等の歯科情報を把握し、歯科医師会に診療の要請。歯科医療救護班は歯科診療にあたる。 <p>〔災害時の練馬つつじ歯科休日急患診療所〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時は通常診療を臨時休止し、「災害時訪問歯科診療事務局」を設置 ・一般歯科診療所の被災状況や患者情報を把握 ・在宅療養者等への訪問歯科診療の提供を実施 <p>〔身元確認への協力〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺体安置所となる体育館等に身元不明遺体が発生した場合、身元確認班は警視庁の指示のもと検視の確認作業に協力 	<p>〔医薬品の調達の流れ〕</p> <p>医療コーディネーターおよび医薬品統括責任者の判断のもと</p> <p>第一要請先：薬剤師会/薬業協同組合</p> <p>第二要請先：医薬品卸売販売業者</p> <p>第三要請先：東京都</p> <p>〔医薬品の搬送体制〕</p> <p>医療救護所等に搬送する場合は、緊急通行車両等の各自の車両を使い搬送</p> <p>物理的に通行不可能の場合は、災害対策本部に要請</p>	<p>〔東京都柔道整復師会練馬支部の災害対策本部設置〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の柔道整復師、会員を統括する災害時体制組織を設置 ・各医療救護所の柔道整復師班から医療救護所情報を把握 <p>① 衛生材料の在庫状況</p> <p>② 班員の活動状況</p> <p>③ 近隣接骨院の開設状況等</p>	<p>◆各師会は、72時間の救護体制が維持できるように、交代勤務の要員を調整する。</p>

第6章 資料編

1 連絡先一覧

(1) 区・四師会

区分	名称	所在地	電話番号	無線番号
区	災害対策本部	区役所本庁舎 7 階	-	ねりま 100
	災害対策健康部	区役所東庁舎 6 階	5984-4673	ねりま 712
四師会 本部	医師会	高野台 2-23-20	3997-7500	ねりま 861
	歯科医師会	豊玉北 6-5-13	3557-0045	ねりま 353
	練馬つつじ歯科休日急患診療所	区役所東庁舎 3 階	3993-9956	
	薬剤師会	富士見台 3-56-3	5848-4450	ねりま 354
	柔道整復師会（植村接骨院）	東大泉 6-50-9	3922-2911	ねりま 351

(2) 災害時医療機関（22 医療機関）

区分	No.	名称	所在地	電話番号	無線番号
災害 拠点病院	1	順天堂練馬病院	高野台 3-1-10	5923-3111	ねりま 851
	2	練馬光が丘病院	光が丘 2-11-1	3979-3611	ねりま 871
災害拠点 連携 医療機関	1	練馬総合病院	旭丘 1-24-1	5988-2200	ねりま 872
	2	浩生会スズキ病院	栄町 7-1	3557-2001	ねりま 873
	3	大泉生協病院	東大泉 6-3-3	5387-3111	ねりま 874
	4	川満外科	東大泉 6-34-46	3922-2912	ねりま 875
	5	田中脳神経外科病院	関町南 3-9-23	3920-6263	ねりま 876
	6	辻内科循環器科歯科クリニック	大泉学園町 8-24-25	3924-2017	ねりま 407
災害医療 支援 医療機関	1	島村記念病院	関町北 2-4-1	3928-0071	-
	2	東大泉病院	東大泉 7-36-10	3924-5820	-
	3	関町病院	関町北 1-6-19	3920-0532	-
	4	練馬さくら病院	北町 3-7-19	3931-1101	-
	5	慈雲堂病院	関町南 4-14-53	3928-6511	-
	6	陽和病院	大泉町 2-17-1	3923-0221	-
	7	豊島園大腸肛門科	春日町 4-6-14	3998-3666	-
	8	阿部クリニック	桜台 2-1-7	3992-1103	-
	9	練馬駅リハビリテーション病院	練馬 1-17-1	3557-2611	-
	10	ねりま健育会病院	大泉学園町 7-3-28	5935-6102	-
	11	桜台病院	豊玉南 1-20-15	3993-7631	-
専門医療 拠点病院	1	東海病院（透析）	中村北 2-10-11	3999-1131	-
	2	久保田産婦人科病院（産科）	東大泉 3-29-10	3922-0262	-
	3	大泉病院（精神）	大泉学園町 6-9-1	3924-2111	-

(3) 透析医療機関（11 医療機関）

No.	名称	所在地	電話番号
1	高松医院	高松 6-4-23	3997-1171
2	練馬中央診療所	豊玉北 5-32-8	3991-9655
3	腎クリニック高野台	高野台 1-3-7	5910-3121
4	練馬桜台クリニック	豊玉北 4-11-9	5999-0723
5	優人クリニック	田柄 2-52-10	5383-6760
6	練馬高野台クリニック	高野台 1-8-15	5372-6151
7	優人大泉学園クリニック	東大泉 1-28-7	3867-5510
8	大泉学園クリニック	東大泉 5-40-24	5947-5681
9	武蔵野総合クリニック練馬	練馬 1-26-1	3993-7015
10	優人上石神井クリニック	上石神井 1-13-13	5903-3630
11	石神井公園じんクリニック	石神井町 7-2-5	3995-0725

(4) 医薬品卸売販売業者（7 事業者）

No.	名称	所在地	電話番号
1	アルフレッサ(株) 練馬支店	杉並区井草 3-20-5	3301-6011
2	(株)スズケン 練馬支店	高野台 2-3-17	5923-0861
3	東邦薬品(株) 練馬・板橋営業所	谷原 1-9-3	3997-3211
4	(株)メディセオ 練馬支店	向山 1-11-13	5987-0861
5	酒井薬品(株) 中野営業所	中野区鷺宮 3-47-1	3337-8021
6	(株)バイタルネット 東京中央支店	板橋区泉町 40-1	5916-1800
7	(株)マルタケ 東京支店	豊島区南大塚 1-2-7	5976-3200

(5) その他の連絡先

No.	名称	所在地	電話番号	FAX 番号	無線番号
1	防災センター	本庁舎 7 階			ねりま 1 0 0
2	健康推進課 (庶務班)	東庁舎 6 階	5984-2482	5984-1211	
3	保健予防課 (予防班)	東庁舎 6 階	5984-1017	5984-1211	ねりま 7 1 1
4	地域医療課 (救護班)	東庁舎 6 階	5984-4673	5984-1211	ねりま 7 1 2
5	豊玉保健相談所	豊玉北 5-15-19	3992-1188	3992-1187	ねりま 5 0 1
6	北保健相談所	北町 6-35-7	3931-1347	3931-0851	ねりま 5 0 2
7	光が丘保健相談所	光が丘 2-9-6	5997-7722	5997-7719	ねりま 309#2
8	石神井保健相談所	石神井町 7-3-28	3996-0634	3996-0590	ねりま 5 0 3
9	大泉保健相談所	大泉学園町 5-8-8	3921-0217	3921-0106	ねりま 5 0 4
10	関保健相談所	関町東 1-27-4	3929-5381	3929-0787	ねりま 5 0 5
11	中村南スポーツ交流センター	中村南 1-2-32	3970-9651	3970-9653	
12	平和台体育館	平和台 2-12-5	5920-3411		
13	上石神井体育館	上石神井 1-32-37	5991-6601	5991-6604	
14	大泉学園体育館	大泉学園町 5-14-24	5905-1161	5905-1166	
15	桜台体育館	桜台 3-28-1	3992-9612	3992-9612	
16	練馬消防署	豊玉北 5-1-8	3994-0119	3994-0480	ねりま 8 0 1
17	光が丘消防署	光が丘 2-9-1	5997-0119	5998-2404	ねりま 8 0 2
18	石神井消防署	下石神井 5-16-8	3995-0119	3995-2168	ねりま 8 0 3
19	練馬警察署	豊玉北 5-2-7	3994-0110		ねりま 8 1 1
20	光が丘警察署	光が丘 2-9-8	5998-0110		ねりま 8 1 2
21	石神井警察署	石神井町 6-17-26	3904-0110	3904-0850	ねりま 8 1 3

避難拠点要員 参集簿

_____医療救護所

	氏名	所属	参集時間	特記事項
1			:	
2			:	
3			:	
4			:	
5			:	
6			:	
7			:	
8			:	
9			:	
10			:	

_____ 班 (_____ 会) 参集簿

_____ 医療救護所

	氏名	診療所名等	参集時間	特記事項
1			:	
2			:	
3			:	
4			:	
5			:	
6			:	
7			:	
8			:	
9			:	
10			:	

被害状況等報告書

練馬区災害対策健康部あて

報告日時	年 月 日 時 分
医療救護所名	_____学校医療救護所
報告者氏名	

1 建物の被害状況

施設の状況	倒壊 ・ 一部倒壊 ・ 被害なし
医療救護所の使用可否	可 ・ 不可
医療救護所の開設	済 ・ 未済
使用できるライフライン	電気 ・ 水道 ・ その他 ()
使用可能な情報設備	電話 ・ 防災無線 ・ 電子メール (PC) ・ 他 ()

2 人的被害 (_____ 時現在の傷病者の状況)

(1) トリアージの実施状況

済	未済	計
人	人	人

(2) トリアージ実施済者の内訳

死亡 (黒)	重症 (赤)	中等症 (黄)	軽症 (緑)
人	人	人	人

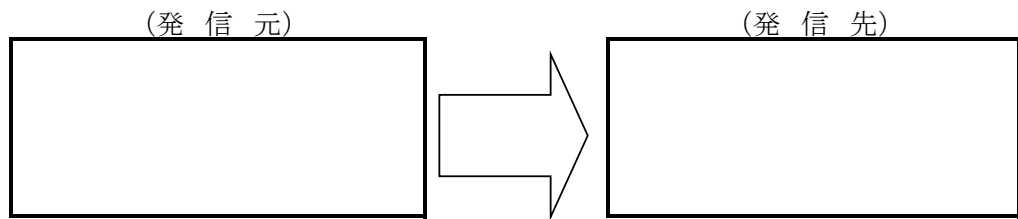
3 参集状況

避難拠点 要員	学校 要員	運営 連絡会	医療 救護班	歯科医療 救護班	薬剤師班	柔道 整復師班	登録 看護師
人	人	人	人	人	人	人	人

4 不足物資・応援等の要望

5 その他報告事項 (備考欄)

通 信 記 録 票



発信日時	年 月 日 午前・午後 時 分	
通信方法	・電話 ・災害伝言ダイヤル ・電子メール ・FAX ・防災無線	
	その他	
記録作成者	所属	
	氏名	
要望		
課題		
意見・報告		

災害診療記録2018

1頁/4頁

* は必須記録項目

* 初診日	西暦 年 月 日		
* 初診医師氏名			
* 患者氏名(カタカナ)	最初の7文字をメディカルIDに転記		
(漢字等)	氏名不詳なら個人特定に役立つ情報(救出された場所や状況等)を記載 性別: 男・女		
* 生年月日・年齢	西暦・明治・大正・昭和・平成 年 月 日 () 歳 年齢不詳の場合は推定年齢		
保険証情報	保険者番号:	記号:	番号:
[携帯]電話番号			
* 住所	自宅: 〒 状態: <input type="checkbox"/> 健存 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 避難先1: <input type="checkbox"/> 避難所名() <input type="checkbox"/> 知人宅 <input type="checkbox"/> テント <input type="checkbox"/> 車内 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 避難先2: <input type="checkbox"/> 避難所名() <input type="checkbox"/> 知人宅 <input type="checkbox"/> テント <input type="checkbox"/> 車内 <input type="checkbox"/> その他		
連絡先	<input type="checkbox"/> 家族・ <input type="checkbox"/> 知人・ <input type="checkbox"/> その他・ <input type="checkbox"/> 連絡先なし		
職業			
【禁忌事項等】 <input type="checkbox"/> アレルギー <input type="checkbox"/> 禁忌食物			
【特記事項(常用薬等)】 <input type="checkbox"/> 抗血小板薬() <input type="checkbox"/> 抗凝固薬 <input type="checkbox"/> ワーファリン() <input type="checkbox"/> 糖尿病治療薬 <input type="checkbox"/> インスリン <input type="checkbox"/> 経口薬 () <input type="checkbox"/> ステロイド() <input type="checkbox"/> 抗てんかん薬() <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 透析 <input type="checkbox"/> 在宅酸素療法(HOT) <input type="checkbox"/> 災害時要配慮者: <input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 妊婦 <input type="checkbox"/> 日本語が不自由 <input type="checkbox"/> その他()			
【要保護者】 <input type="checkbox"/> 支援者のいない要配慮者等 該当状況: <input type="checkbox"/> 身体的/ <input type="checkbox"/> 精神的/ <input type="checkbox"/> 社会的/ <input type="checkbox"/> その他()			
* 傷病名	* 開始	診察場所	* 所属・医師サイン
	月 年 日		
トリアージタグ <input type="checkbox"/> 赤 <input type="checkbox"/> 黄 <input type="checkbox"/> 緑 <input type="checkbox"/> 黒 番号:			
メディカルID			M/F

メディカルID=西暦生年月日8桁+性別+氏名カタカナ上位7桁
例)1950年09月08日生まれ 男性 トヨトミヒデヨシ⇒ 19500908Mトヨトミヒデヨ

患者氏名 (カタカナ)		* 氏名不詳なら個人特定に役立つ状況情報を記載				初診医師氏名												
一般診療版 J-SPEED2018 当てはまるもの全てに○																		
Demographics	初診日	西暦	年	月	日	再診	再診	バイタルサイン										
	年齢	歳				日付	日付	意識障害: <input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有	呼吸数: / min									
	性別受診区分	<input type="checkbox"/> 0歳 <input type="checkbox"/> 1-14歳 <input type="checkbox"/> 15-64歳 <input type="checkbox"/> 65歳-						血圧: / mmHg	体温: °C									
		1	<input type="checkbox"/>	男性				脈拍: / min	整・不整									
		2	<input type="checkbox"/>	女性(妊娠なし)				身長・体重										
3		<input type="checkbox"/>	女性(妊娠あり)				身長: cm	体重: / kg										
既往症		<input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 喘息 <input type="checkbox"/> その他		予防接種		<input type="checkbox"/> 麻疹 <input type="checkbox"/> 破傷風 <input type="checkbox"/> 今期インフルエンザ <input type="checkbox"/> 肺炎球菌 <input type="checkbox"/> 風疹 <input type="checkbox"/> その他 ()												
Health Events	外傷・環境障害	6	<input type="checkbox"/>	頭頸・脊椎の重症外傷(PAT赤)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	主訴											
		7	<input type="checkbox"/>	体幹の重症外傷(PAT赤)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現病歴 (日本語で記載)											
		8	<input type="checkbox"/>	四肢の重症外傷(PAT赤)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□外傷⇒黄色タグ以上は外傷版記録へ(J-SPEED は記入) □精神保健医療⇒精神保健医療版記録へ(J-SPEED は記入)											
		9	<input type="checkbox"/>	中等症外傷(PAT赤以外・入院必要)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
		10	<input type="checkbox"/>	軽症外傷(外来処置のみで加療可)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
	11	<input type="checkbox"/>	創傷	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>													
	12	<input type="checkbox"/>	骨折	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>													
	13	<input type="checkbox"/>	熱傷	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>													
	Public Health	症候・感染症	14	<input type="checkbox"/>	溺水	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	診断										
			15	<input type="checkbox"/>	クラッシュ症候群	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				処置							
16			<input type="checkbox"/>	発熱	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	処方											
17			<input type="checkbox"/>	急性呼吸器感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								転帰 <input type="checkbox"/> 帰宅 <input type="checkbox"/> 搬送 → 搬送手段 搬送機関 搬送先 <input type="checkbox"/> 紹介 → 紹介先 <input type="checkbox"/> 死亡 → 場所 時刻 確認者				
18			<input type="checkbox"/>	消化器感染症、食中毒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
19		<input type="checkbox"/>	麻疹疑い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>													
20		<input type="checkbox"/>	破傷風疑い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>													
21		<input type="checkbox"/>	急性血性下痢症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>													
Public Health		その他	22	<input type="checkbox"/>	緊急の感染症対応ニーズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	対応者署名 (判読できる文字で記載)										
			23	<input type="checkbox"/>	人工透析ニーズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				所属(チーム名等)	医師	看護師					
	24		<input type="checkbox"/>	外傷以外の緊急の外科的医療ニーズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
	25		<input type="checkbox"/>	感染症以外の緊急の内科的医療ニーズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	薬剤師				業務調整員	その他	データ入力					
	26		<input type="checkbox"/>	災害ストレス関連諸症状	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
	Public Health	公衆衛生	27	<input type="checkbox"/>	緊急のメンタル・ケアニーズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	メモ *追加症候群は保健医療調整本部等からの指示に応じて集計 メディカル ID = 西暦生年月日 8桁 + 性別 + 氏名カタカナ上位 7桁										
			28	<input type="checkbox"/>	深部静脈血栓症/肺・脳・冠動脈血栓症疑い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
			29	<input type="checkbox"/>	高血圧状態	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
			30	<input type="checkbox"/>	気管支喘息発作	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
			31	<input type="checkbox"/>	緊急の産科支援ニーズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											
Context	Procedure & Outcome	32	<input type="checkbox"/>	皮膚疾患(外傷・熱傷以外)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	関連性 51 <input type="checkbox"/> 直接的関連あり(災害による外傷等) 52 <input type="checkbox"/> 間接的(環境変化による健康障害) 53 <input type="checkbox"/> 関連なし(悪性腫瘍等・診察医判断) 保護 54 <input type="checkbox"/> 保護を要する小児(孤児等) 55 <input type="checkbox"/> 保護を要する成人高齢者 56 <input type="checkbox"/> 性暴力 57 <input type="checkbox"/> 暴力(性暴力以外) 58 <input type="checkbox"/> 59 <input type="checkbox"/> 60 <input type="checkbox"/>											
		33	<input type="checkbox"/>	掲載以外の疾病	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
		34	<input type="checkbox"/>	緊急の栄養支援ニーズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
		35	<input type="checkbox"/>	緊急の介護/看護ケアニーズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
		36	<input type="checkbox"/>	緊急の飲料水・食料支援ニーズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
	Context	転帰	37	<input type="checkbox"/>	治療中断	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>								
			38	<input type="checkbox"/>	高侵襲処置(全身麻酔・入院必要)	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>								
			39	<input type="checkbox"/>	低侵襲外科処置(縫合・デブリドマン等)	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>								
			40	<input type="checkbox"/>	四肢切断(指切断を除く)	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>								
			41	<input type="checkbox"/>	出産・帝王切開・その他産科処置	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>								

患者氏名 (カタカナ)	* 氏名不詳なら個人特定に役立つ状況情報を記載	医師氏名	* 本ページを最初に利用した医師氏名
----------------	-------------------------	------	--------------------

日時	所見	J-SPEED 該当コード(4 度目受診以降)	処置・処方	・診療場所 ・所属 ・医師等サイン

メディカル ID = 西暦生年月日 8 桁 + 性別 + 氏名カタカナ上位 7 桁

メディカル ID																							
							M / F																

※この災害用処方せんは医療救護所内の調剤所用です。

災害用処方せん

医療救護所の名称

所属する医療機関名称

処方医師氏名

患者	氏名				男・女
	明・大・昭・平・令 年 月 日生				
交付年月日		年 月 日			
処方					
備考	投与日数／1日 ・ 2日 ・ 3日 ・ 4日 ／				
調剤済年月日	年 月 日			調剤した薬剤師氏名	
薬剤師の所属する組織の名称または連絡先					

学校 医療救護所 重症者・中等症者一覧

様式8

No.	氏名	年齢	性別	住所	電話	トリアージ実施							収容医療機関名	症状・傷病名	特記事項		
						実施日時	実施氏名	区分変更				実施機関					
								0(黒)	I(赤)	II(黄)	III(緑)	医師				救急救命士	その他
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														

搬送者カード

- ① 医師の診断が終わったら、タグの情報をカードに記入します。
- ② 患者が待機しているベッドにセロハンテープで張り付け、診察済みであることを周知します。
- ③ 患者が搬送されたら、このカードを記録場所に渡します。

1 トリアージタグのNO _____

2 氏名 _____

3 性別 男 ・ 女 _____

4 年齢 才 _____

5 搬送先医療機関名 _____

※ 搬送先が決まったら記入します。

6 搬送済かどうか 済 _____

※ 医療機関へこの患者が搬送された場合は「済」に○を付け、記録場所に渡します。

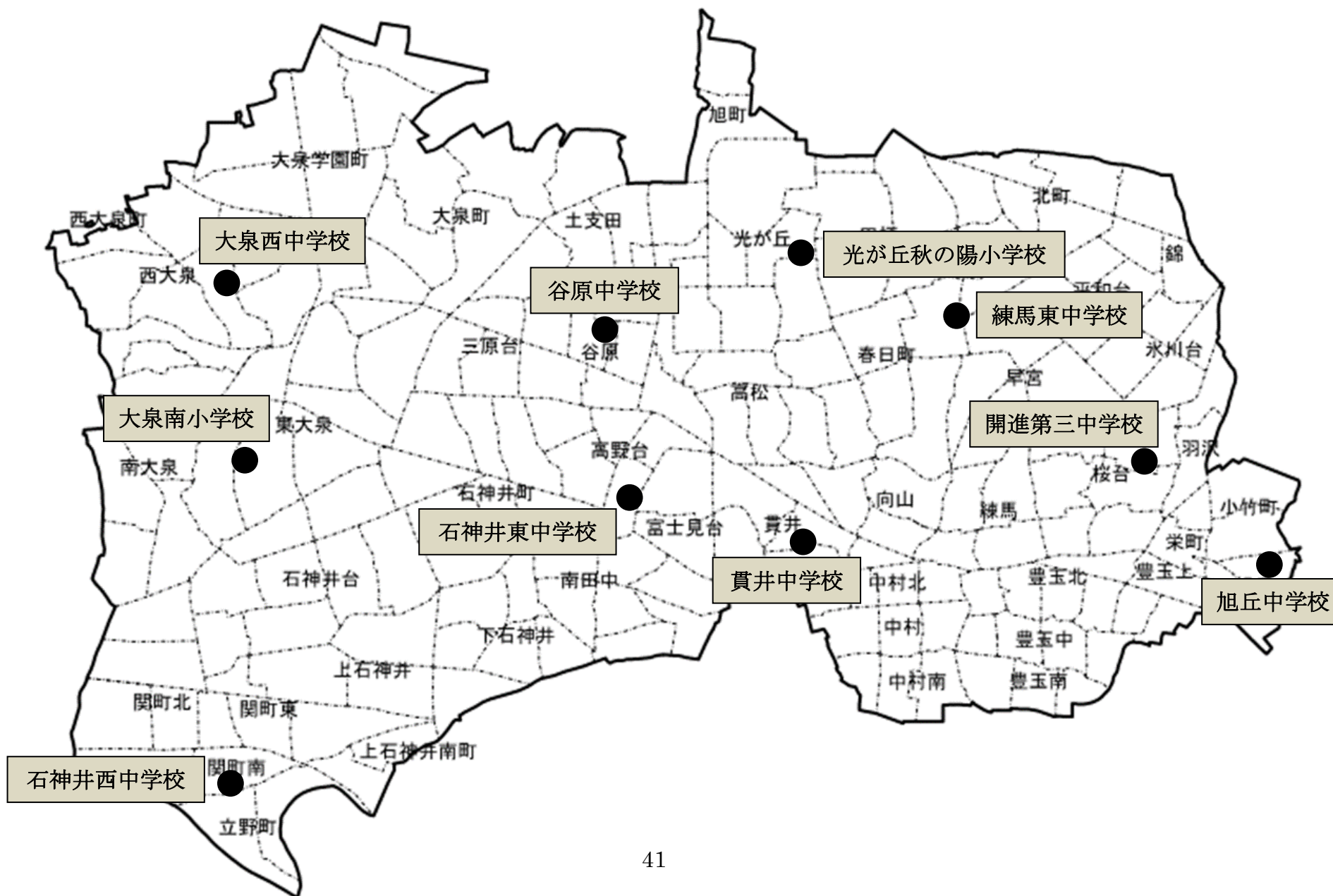
7 この票の記入者氏名等記入欄□

所属: _____

氏名: _____

3 医療救護所配置図

※光が丘第四中学校医療救護所は平成31年4月より光が丘秋の陽小学校（光が丘2-1-1）へ指定変更。



4 備蓄医療資器材等一覧

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先
1	診断用具	聴診器	リットマン型 ケース付き	個	4	1号
2		血圧計	単四2個用 手首式	個	2	1号
3		血圧計	アネロイド式	個	2	1号
4		パルスオキシメーター	単四2個用	個	1	1号
5		打診器	米式	個	4	1号
6		バイトスティック	舌圧子兼開口器	個	7	1号
7		体温計	ボタン電池 LR41 1個用	個	4	1号
8		ペンライト	携帯用	個	4	1号
9		メジャー	2m (ROTARY)	個	4	1号
10	蘇生用具	酸素ボンベ	500L アルミ容器	本	3	その他
11		減圧弁	流量計付	組	3	その他
12		フェイスマスク	成人用	個	3	2号
13		フェイスマスク	小児用	個	3	2号
14		アンビューバッグ	成人用 チューブ・マスク付	組	3	その他
15		アンビューバッグ	小児用 チューブ・マスク付	組	1	その他
16		人工呼吸用マウスシート		個	4	2号
17		蘇生チューブ	口対口	個	3	2号
18		経口エアウェイ	大	個	3	2号
19		経口エアウェイ	中	個	3	2号
20		経口エアウェイ	小	個	3	2号
21		経鼻エアウェイ	6mm	本	3	2号
22		経鼻エアウェイ	7mm	本	3	2号
23		経鼻エアウェイ	8mm	本	3	2号
24	吸引用具	吸引器	足踏式	個	1	1号
25		吸引器	手動式	個	3	1号
26		サクションカテーテル	12Fr	本	3	1号
27		サクションカテーテル	14Fr	本	3	1号
28		サクションカテーテル	18Fr	本	3	1号
29		コネクター	3m/m	個	2	1号
30		コネクター	5m/m	個	2	1号
31		ネラトンカテーテル	8Fr	本	5	1号
32		ネラトンカテーテル	12Fr	本	5	1号
33		ネラトンカテーテル	16Fr	本	5	1号
34		バルーンカテーテル	8Fr	本	1	1号
35		バルーンカテーテル	18Fr	本	1	1号
36		バルーンカテーテル	20Fr	本	1	1号

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先
37	気管挿管用 具	喉頭鏡	成人用 単二 2 個用	組	2	2 号
38		喉頭鏡	小児用 単二 2 個用	組	1	2 号
39		気管内チューブ	カフ付 7mm	本	2	2 号
40		気管内チューブ	カフ付 8mm	本	2	2 号
41		気管内チューブ	カフ付 9mm	本	2	2 号
42		気管内チューブ	カフ無 4mm	本	1	2 号
43		気管内チューブ	カフ無 5mm	本	1	2 号
44		気管内チューブ	カフ無 6mm	本	1	2 号
45		スタイレット	10Fr	本	1	2 号
46		スタイレット	14Fr	本	1	2 号
47		マギル鉗子	ステンレス	本	1	2 号
48		チューブ鉗子	ステンレス	本	2	2 号
49		舌鉗子	コラン氏式	本	6	2 号
50		開口器	エスマルヒ	個	3	2 号
51		バイトブロック	大	個	3	2 号
52		バイトブロック	小	個	3	2 号
53		カフポンプ	20ml	個	1	2 号
54	気管挿管用 具	コッヘル鉗子	14.5cm 直 有鉤	本	2	3 号
55		ペアン鉗子	14.5cm 直 無鉤	本	2	3 号
56		消息子	18cm	本	2	3 号
57		ピンセット	18cm 有鉤	本	10	3 号
58		ピンセット	18cm 無鉤	本	10	3 号
59		ピンセット	23cm 無鉤	本	50	3 号
60		持針器	マツチュー 16cm	本	2	3 号
61		スカルペル	No. 10 柄付	本	5	3 号
62		スカルペル	No. 11 柄付	本	5	3 号
63		スカルペル	No. 20 柄付	本	5	3 号
64		外科剪刀	両鈍反 14.5cm	本	2	3 号
65		外科剪刀	片尖直 14.5cm	本	2	3 号
66		針付縫合糸	2-0	本	5	3 号
67		針付縫合糸	3-0	本	5	3 号
68		針付縫合糸	5-0	本	5	3 号
69		注射器	2.5ml 23G 針付	本	25	3 号
70		注射器	5ml 22G 針付	本	30	3 号
71		注射器	10ml 21G 針付	本	20	3 号
72		注射器	20ml 針なし	本	15	3 号
73		注射器	30ml 針なし	本	10	3 号

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先
74	外科用具	注射針	21G	本	15	3号
75		注射針	23G	本	15	3号
76		駆血帯	サラヤターニケット	個	2	3号
77		シャーレ	ステンレス	枚	3	2号
78		膿盆	ステンレス	枚	3	2号
79		消毒パッド	ステンレス	枚	2	2号
80		スキンステープラー	35針タイプ	個	50	8号
81		リムーバー	スキンステープラー用	本	10	8号
82		手術手袋	6.5、7.0、7.5サイズ	双	各5	5号
83		アイソレーションガウン	不織布	枚	10	5号
84		ヘアキャップ	不織布	枚	10	5号
85		カートリッジシリンジ	歯科用	本	5	3号
86		注射針	歯科用 30G 21mm	本	10	3号
87		ピンセット	歯科用	本	30	3号
88	ミラー	歯科用	本	30	3号	
89	輸液用具	輸液セット	自然落下式・ポンプ接続兼用	個	20	4号
90		輸液セット小児用	自然落下式・ポンプ接続兼用	個	6	4号
91		翼状針	18G	本	10	4号
92		翼状針	21G	本	10	4号
93		翼状針	23G	本	10	4号
94		静脈留置針	18G チューブ付き	本	30	4号
95		静脈留置針	22G チューブ付き	本	10	4号
96		静脈留置針	24G チューブ付き	本	10	4号
97		カテラン針	23G	本	20	4号
98		点滴用副子 (ユンカー)	3号	個	3	4号
99		S字フック	輸液用	個	10	4号
100		輸液ロープ	輸液用	本	1	4号
101	調剤用具	上皿てんびん	US160 村上自動上皿天秤	個	1	その他
102		瓶立		個	1	その他
103		薬匙	三ツ組 プラスチック製	個	1	その他
104		薬匙	三ツ組 ステンレス製	個	1	その他
105		軟膏ベラ	中 プラスチック製	本	3	その他
106		軟膏ベラ	大	本	2	その他
107		軟膏ベラ	小	本	2	その他
108		軟膏板	240×240mm	枚	1	その他
109		液量計	30ml ガラス製 円錐形	個	2	その他
110		液量計	100ml 円錐形	個	1	その他

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先
111	調剤用具	液量計	100ml ガラス製 円錐形	個	2	その他
112		薬包紙	大型 500 枚入り	袋	2	その他
113		薬袋		枚	200	その他
114	眼科・耳鼻科用具	開瞼器		本	2	4号
115		点眼棒		本	3	4号
116		鼻鏡	ハルトマン	本	1	4号
117		耳鏡	大	本	1	4号
118		耳鏡	中	本	1	4号
119		耳鏡	小	本	1	4号
120		眼帯	ガーゼ付き	本	3	4号
121		洗眼瓶	100cc	個	3	4号
122		受水器	ステンレス	個	3	4号
123		額帯鏡	BC-ST	個	1	4号
124		噴霧器	BC-DX	式	1	4号
125		二連球	No. 6	個	1	4号
126	包帯材料用具	救急絆	S, M, L サイズ	箱	3	6号
127		サージnPadd	5×8cm	枚	30	6号
128		サージnPadd	8×13cm	枚	30	6号
129		サージnPadd	11×20cm	枚	30	6号
130		滅菌ガーゼ	15cm×15cm	枚	200	6号
131		綿棒	50 本入	袋	3	6号
132		清浄綿	25 包入	箱	5	6号
133		三角巾	105×105×150cm	枚	100	5号
134		耳付包帯	3 裂	本	10	7号
135		耳付包帯	4 裂	本	10	7号
136		耳付包帯	5 裂	本	10	7号
137		サージカルテープ	12mm×9m 24 巻入	箱	3	6号
138		サージカルテープ	50mm×9m 6 巻入	箱	3	6号
139		ネット包帯	手指用	個	7	6号
140		ネット包帯	頭部用	個	7	6号
141		弾性包帯	5cm	個	20	7号
142		弾性包帯	7.5cm	個	20	7号
143		弾性包帯	10cm	個	20	7号
144		雑剪刀	ステンレス	本	5	6号
145		救急剪刀	万能バサミ (BC-2020ES)	本	1	6号
146	リングカッター	U・S・A	本	1	6号	

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先
147	止血用具	止血棒	救急用	本	10	7号
148		止血帯	マジックテープ	本	4	7号
149		傷票	白	枚	10	7号
150	骨折固定用具	アルミシーネ	アルフェンス 10号	枚	21	5号
151		板状副子	上肢用	枚	14	7号
152		針金副子	下肢用	枚	6	7号
153		エアシーネ	四肢用 4サイズ	枚	3	7号
154		ソフトシーネ	下肢用	枚	6	その他
155		ペンチ	副子用	個	1	7号
156	雑品・その他	今日の治療薬	2021年版	札	1	その他
157		不織布マスク		枚	200	1号・その他
158		フェイスシールド		枚	10	その他
159		ポンチョ		枚	20	その他
160		手洗ブラシ	台付	個	1	8号
161		石けん	ミューズ 固形	個	1	8号
162		液体石けん	泡タイプ	個	1	収納ケースA
163		携帯用消毒器	煮沸	個	1	8号
164		固形燃料	中 (ニチネン)	個	1	8号
165		麦粒鉗子	ステンレス	本	1	8号
166		水桶	折りたたみ	個	2	8号
167		フェイスタオル	白	枚	30	2号
168		防水シート	100×180cm	枚	20	1号
169		ペーパータオル	200枚入り	個	2	収納ケースA
170		レスキューシート	救急アルミックシート	枚	7	2号
171		ランタン	キャンドル付き 折りたたみ	個	1	8号
172		ローソク	ライター付	個	7	8号
173		災害用カルテ	A4 両面	枚	300	その他
174		災害用処方箋	A4 片面	枚	300	その他
175		搬送者カード		枚	50	その他
176		トリアージタグ		枚	500	収納ケースB
177		ラップフィルム	サランラップ 30cm×50m	箱	20	収納ケースA
178		ニトリル手袋	Sサイズ	双	250	その他
179		ニトリル手袋	Mサイズ	双	750	その他
180		ニトリル手袋	Lサイズ	双	50	その他
181		針捨てボックス	1L	個	3	4号
182		医療廃棄物ゴミ箱	段ボール	個	3	その他

183		医療廃棄物ゴミ袋	40L	枚	10	収納ケースB
No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量	保管先
184	雑品・その他	簡易ベッド		台	4	その他
185		松葉杖		組	4	その他
186		一人可搬担架	タフレンジャー	台	1	その他
187		クリップボード	A4 縦	枚	6	その他
188		文房具ケース	295×447×162mm	個	1	その他
189		ボールペン	黒	本	10	文房具ケース
190		サインペン	黒	本	10	文房具ケース
191		サインペン	赤	本	10	文房具ケース
192		セロハンテープ	台付き	台	2	文房具ケース
193		養生テープ		個	1	文房具ケース
194		メモ用紙	救急用	冊	10	文房具ケース
195		乾電池	単1形	個	12	文房具ケース
196		乾電池	単2形	個	14	文房具ケース
197		乾電池	単3形	個	32	文房具ケース
198		乾電池	単4形	個	6	文房具ケース
199		ボタン電池	LR41	個	4	文房具ケース
200		収納ケースA	360×530×370mm	個	1	その他
201		サーチライト	単一6個用	本	2	収納ケースA
202		懐中電灯	単二2個用	本	4	収納ケースA
203		懐中電灯	単三2個用 LED	本	1	収納ケースA
204		ヘッドライト	単三3個用 LED	個	10	収納ケースA
205	収納ケースB	440×635×325mm	個	1	その他	
206	ビブス	医師	枚	5	収納ケースB	
207	ビブス	歯科医師	枚	4	収納ケースB	
208	ビブス	薬剤師	枚	6	収納ケースB	
209	ビブス	柔道接骨師	枚	3	収納ケースB	
210	ビブス	看護師	枚	5	収納ケースB	
211	ビブス	保健師	枚	3	収納ケースB	
212	ビブス	事務員	枚	1	収納ケースB	
213	ビブス	区要員	枚	3	収納ケースB	
214	腕章	統括医	枚	1	収納ケースB	
215	腕章	班長	枚	1	収納ケースB	
216	腕章	リーダー	枚	3	収納ケースB	
217	各エリア表示	A3 ラミネート加工	枚	9	収納ケースB	
218	医療救護所看板		枚	1	その他	
219	手指消毒ジェル	500ml	本	20	その他	

5 備蓄医薬品一覧

No.	区分	品名	規格/容量	流通備蓄	単位	数量(石東・秋の陽)
1	消毒液	5%ヒビテン液	500ml		本	2
2		消毒用エタノール	500ml		本	4
3		イソジンスクラブ液7.5%	500ml		本	2
4		ウエルバス手消毒液0.2%	500ml		本	1
5		次亜塩素酸ナトリウム	500ml		本	1
6	鎮痛・鎮静剤	ソセゴン注射液15mg	1ml×10管/箱		管	20
7		ネオフィリン注250mg	10ml×30管		管	150
8		ボルタレンサポ25mg	50個/箱	○	個	150(250)
9		アンヒバ坐剤小児用100mg	50個/箱	○	個	300(450)
10		ロキソニン錠60mg	100錠/箱	○	錠	600(900)
11		カロナール錠200mg	100錠/箱	○	錠	1800(3000)
12		セルタッチパップ70	7枚×100袋/段ボール箱	○	枚	700
13		ブスコパン錠10mg	100錠/箱	○	錠	100
14		デパス錠0.5mg	100錠/箱	○	錠	300(800)
15		レンドルミンD錠0.25mg	100錠/箱	○	錠	100
16	抗血小板・強心利尿剤	ソル・コーテフ注射用100mg	5バイアル/箱		管	10
17		ラシックス錠20mg	100錠/箱	○	錠	100
18		バイアスピリン錠100mg	100錠/袋	○	錠	100
19	麻酔剤	キシロカイン注ポリアンブ1%	10ml×10管		管	10
20		キシロカインゼリー2%	30ml×2本		本	2
21		歯科用キシロカインカートリッジ	1.8ml×50管		管	50
22	血圧昇圧剤	ノルアドレナリン注1mg	1ml×10管/箱		管	20
23		プロタノールL注0.2mg	1ml×10管/箱		管	20
24		エホチール注10mg	1ml×10管/箱		管	20
25		ボスミン注1mg	1ml×10管/箱		管	20
26	補液剤	ブドウ糖注5%PL「フソー」	500ml		本	4
27		ラクテック注	500ml×20袋/段ボール		袋	20
28		大塚生食注TN	100ml×10本/箱		本	100
29	抗菌剤	フロモックス錠100mg	100錠/箱	○	錠	100
30		セフゾン細粒小児用10%	0.5g×120包/箱	○	包	60
31		ゲンタシン軟膏0.1%	10g×10本/箱	○	本	20(30)
32		サワシリン錠250	100錠/箱		錠	100
33	消化器官用剤	タケプロンOD錠15	100錠/箱	○	錠	100
34		ビオフェルミンR錠	100錠/箱	○	錠	600
35		ナウゼリン錠10	100錠/箱	○	錠	600
36		ラキソベロン内用液0.75%	10ml×10本/箱	○	本	10
37		グリセリン浣腸「オヲタ」60	60ml×10本/箱	○	本	10

No.	区分	品名	規格／容量	流通備蓄	単位	数量(石東・秋の陽)
38	呼吸器 器官用 剤	メブチン錠50 μ g	100錠/箱	○	錠	100
39		サルタノールインヘラー100 μ g	13.5ml \times 1本/箱		本	3
40		シムビコートタービュヘイラー30吸入	30吸入 \times 1本/箱		本	10
41	拡張 血管 剤	ノルバスク錠2.5mg	100錠/箱	○	錠	100
42		ニトロペン舌下錠0.3mg	100錠/箱	○	錠	30
43		フランドルテープ40mg	50枚/箱	○	枚	100
44	眼科 用 剤	クラビット点眼液0.5%	5ml \times 5本/箱	○	本	5
45		タリビッド眼軟膏0.3%	3.5g \times 10本/箱	○	本	10
46	内服 その 他 剤	PL配合顆粒	1g \times 100包/箱	○	包	500(1000)
47		メジコン錠15mg	100錠/箱	○	錠	100
48		セレスタミン配合錠	100錠/袋	○	錠	100(200)
49	外用 その 他 剤	リンデロンVG軟膏0.12%	5g \times 10本/箱	○	本	10
50		白色ワセリン	500g		本	1
51		ソフラチュール貼付剤10cm	10枚/袋		枚	100
52	その他	滅菌精製水	500ml		瓶	10

6 医療救護所アクションカード

医療救護所アクションカード (1/6)		□ □ □ □ 中学校
医療救護所班長		
開設の目安は発災から72時間		副校長【 】 保健師【 】
担当	活動場所	役割
避難拠点班長 または任命を受けた者	医療救護所本部 (備蓄倉庫・随時巡回)	施設における責任者
1. 大規模地震が発生！まずは、以下の事項を確認 最大震度 () 震源地 () 発生時刻 () 2. 四研会等の参集状況を確認。医療職の参集状況を結核医に確認【月 日 時 分現在】 ・区学校委員： 参集数計 () 名 ・医師会： 統括医 () 名 ・歯科医師会： リーダー () 名 ・薬剤師会： () 名 ・柔整師会： () 名 ・看護師： () 名 ・保健師： () 名 ※看護師は、災害時に活動できるよう事前登録をし、登録カードを提示することになっている ※医療職は、災害時に活動できるよう事前登録をし、登録カードを提示することになっている ※ピンプスおよび腕章（リーダーのみ）の着用を指示 ※裏面の【各エリア配置図】を参考に、以下の物品の搬出と設置を指示		
必要物品		保管場所
医療資器材、医薬品、各種様式、マニュアル、担架、松葉杖、酸素ボンベ・減圧弁等、ピンプス、トリアージタグ、エリア別表示、調剤関係、マスク・ボンチョ、簡易ベッド		医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)
長机		第2視聴覚室 (3階北校舎)
パイプ椅子		体育館ステージ下
ホワイトボード、マーカー		保健室、プールサイド
パーティション		保健室
4. 役割分担 <input type="checkbox"/> 次の役割に避難拠点委員および避難拠点運営連絡会を充てる 避難拠点運営との兼ね合いで、人数を割けない場合でも、①②③には必ず人を充てること ① 班長 ② 医療救護所本部 ③ トリアージ担当補助 ④ 重症者処置エリア担当補助 ※軽症者処置エリア担当補助 ⑤ 搬送担当 ⑥ 無職担当 ※医療職の配置については、統括医（医師のリーダー）が調整する 5. 医療救護活動を統括医とともに管理 <input type="checkbox"/> 統括医と協議した上で医療救護所の開設決定し、開設を宣言 <input type="checkbox"/> 医療救護所の開設について、災対本部ならびに災対健康部に報告 <input type="checkbox"/> 医療救護所本部で区委員にクロノロジーの作成とトリアージタグの回収を指示 <input type="checkbox"/> 医療救護所本部で傷病者の来所状況を把握 <input type="checkbox"/> 統括医と連携し、重症者の搬送等の調整を災対健康部で行う <input type="checkbox"/> 災対本部から得た情報を、医療救護所と共有 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、黒エリアを立ち上げ、人員を配置 <input type="checkbox"/> 医療救護所の閉鎖について、統括医、災対本部ならびに災対健康部と協議 <input type="checkbox"/> 医療救護所の閉鎖を宣言し、災対本部および災対健康部に報告 6. 状況に応じて休憩を取る場合、班長代りに引き継ぎを行う <input type="checkbox"/> 各種職員の交代要員の把握およびリーダーの確認 <input type="checkbox"/> 傷病者の来所状況や各種職員のリーダーを伝達 <input type="checkbox"/> 活動中の注意点や懸念点を伝達 7. その他 <input type="checkbox"/> 不明瞭なことがあれば災対健康部に指示を仰ぐこと		

医療救護所アクションカード (2/6)		□ □ □ □ 中学校
統括医		
開設の目安は発災から72時間		副校長【 】 班長【 】 保健師【 】
担当	活動場所	役割
医師	医療救護所本部 (備蓄倉庫・随時巡回)	医療救護活動における責任者
1. 大規模地震が発生！まずは、以下の事項を確認 最大震度 () 震源地 () 発生時刻 () 2. 四研会等の参集状況を確認。医療職の参集状況を班長に報告【月 日 時 分現在】 ・医師会： リーダー () 名 ・歯科医師会： () 名 ・薬剤師会： () 名 ・柔整師会： () 名 ・看護師： () 名 ・保健師： () 名 ※看護師は、災害時に活動できるよう事前登録をし、登録カードを提示することになっている 3. 医療救護所の設置を班長とともに指示 <input type="checkbox"/> 既に来所している傷病者に対して、処置を指示 <input type="checkbox"/> ピンプスおよび腕章（リーダーのみ）の着用を指示 <input type="checkbox"/> 裏面の【各エリア配置図】を参考に、以下の物品の搬出と設置を指示		
必要物品		保管場所
医療資器材、医薬品、各種様式、マニュアル、担架、松葉杖、酸素ボンベ・減圧弁等、ピンプス、トリアージタグ、エリア別表示、調剤関係、マスク・ボンチョ、簡易ベッド		医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)
長机		第2視聴覚室 (3階北校舎)
パイプ椅子		体育館ステージ下
ホワイトボード、マーカー		保健室、プールサイド
パーティション		保健室
4. 役割分担 <input type="checkbox"/> ① 統括医 ② トリアージ担当 ③ 重症者処置エリア担当 ④ 軽症者処置エリア担当 <input type="checkbox"/> ⑤ 調剤・投薬所担当 ※医師は①③④⑤、歯科医師は②④、薬剤師は②⑤③④、柔整師は②④、看護師は②③④に配置 <input type="checkbox"/> 各エリアのリーダーを選定 <input type="checkbox"/> アクションカードを各担当リーダーに渡す 5. 医療救護活動を管理 <input type="checkbox"/> 医師の交替シフトの作成および各分科リーダーヘシフト作成を呼びかける（8時間/1名あたり） <input type="checkbox"/> 各エリアの設置状況や患者動線を確認し、班長と協議の上、医療救護所の開設を決定 <input type="checkbox"/> 医療救護所本部で区委員にクロノロジーの作成とトリアージタグの回収を指示 <input type="checkbox"/> 医療救護所本部で傷病者の来所状況を把握 <input type="checkbox"/> 各処置エリアを巡回し、傷病者の特色に合わせて人員を差配 (例：重症者が複数来所した場合は、軽症者処置エリアから重症者処置エリアへ人員を再配置) <input type="checkbox"/> 班長の人員が不足している場合は、自ら診療にあたる <input type="checkbox"/> 班長から得た情報を、医療救護所内で共有 <input type="checkbox"/> 搬送が必要な傷病者が発生した場合、当該患者の状態とともに年齢や性別等の情報を災対対策健康部へ伝達し、搬送先および搬送手段の調整を依頼（防災無線は各校舎2階の職員室） <input type="checkbox"/> 必要に応じて、黒エリアを立ち上げ、人員を配置 6. シフトの統括医に引き継ぎを行う <input type="checkbox"/> 各種職員の交代要員の把握およびリーダーを確認 <input type="checkbox"/> 傷病者の来所状況や各種職員のリーダーを伝達 7. その他 <input type="checkbox"/> 不明瞭なことがあれば災対健康部および災害医療コーディネーターに指示を仰ぐこと		

医療救護所アクションカード (3/6)		□ □ □ □ 中学校
緑エリア（軽症処置）リーダー		
Mission：軽症者の応急手当		副校長【 】 班長【 】 保健師【 】
担当	活動場所	役割
軽症者処置エリアの医療職から1名	診察・柔整師施術 (1階普通教室)	調剤・投薬 (備蓄倉庫) 軽症者処置エリアの指揮者
1. 統括医からアクションカードを受領。緑エリアの設置を指示 <input type="checkbox"/> 緑エリアリーダーの上司は統括医、部下は緑エリアの構成員とする <input type="checkbox"/> 各分科のリーダーは、各分科委員のシフトの作成や各分科との連絡調整を行うものとする 緑エリアリーダーとの兼務は可 <input type="checkbox"/> 裏面の【各エリア配置図】を参考に、以下の物品の搬出と設置を指示 軽症者処置エリアは、次のブースを設置 ① トリアージ ② 診察 ③ 柔整師施術 ④ 調剤・投薬 ※レイアウトについては、必要に応じて、また使い勝手によって変更可		
必要物品		保管場所
医療資器材、各種様式、マニュアル、担架杖、ピンプス、トリアージタグ、エリア別表示、マスク・ボンチョ		医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)
長机		第2視聴覚室 (3階北校舎)
パイプ椅子		体育館ステージ下
学習机・椅子		各教室
※教室内の学習机の使用は可能であるが、学校再開に影響のないよう配慮すること。		
2. 役割分担 <input type="checkbox"/> トリアージ、診察、柔整師施術、調剤・投薬それぞれの役割に人員を割り振る ① 医師-診察 ② 歯科医師-トリアージ (診察) ③ 薬剤師-調剤・投薬 (診察補助、トリアージ) ④ 柔整師-施術 (トリアージ) <input type="checkbox"/> 看護師-診察補助 (トリアージ) <input type="checkbox"/> トリアージ担当には、トリアージカード (緑エリア) を渡す 3. 自らの役割を果たしつつ、緑エリアを管理 <input type="checkbox"/> 重症患者への対応が最優先。赤エリアで人員が不足した場合には、積極的に協力すること <input type="checkbox"/> 統括医からの連絡を受け、適宜構成員に伝達 <input type="checkbox"/> 来所した傷病者は、トリアージを受ける前に避難拠点運営連絡会（地域住民）が、歩行の可否により振り分ける。トリアージ担当は、トリアージを行うとともに患者情報や既往症等を聞き取り、タグを作成（氏名や住所等は、患者自身に記載させて構わない） <input type="checkbox"/> 災害診療記録（カルテ）は必ず作成すること <input type="checkbox"/> 軽症患者の容体が急変し、中等症以上になった場合などは、赤エリアへ患者を移送 <input type="checkbox"/> トリアージタグの1枚目（災害現場用）はトリアージ後に回収し、トリアージタグ本体は処置完了後に回収する。医療救護所本部で集計するため、本部の区委員が回収しやすい場所にまとめる <input type="checkbox"/> レイアウトや運営方法等については、必要に応じて変更可能。ただし、その際は、班長や統括医、副校長と調整の上、変更すること <input type="checkbox"/> 感染症の流行している時期においては、誘導員を選任し、処置室が過度に密集しないよう入室を制限。また、定期的に換気を行う 4. 状況に応じて休憩を取る場合、代理に引き継ぎを行う <input type="checkbox"/> 各種職員の交代要員を把握 <input type="checkbox"/> 活動中の注意点や懸念点を伝達 5. その他 <input type="checkbox"/> 不明瞭なことがあれば災対健康部より指示を仰ぐこと		

医療救護所アクションカード (4/6)		□ □ □ □ 中学校
赤エリア（重・中等症処置）リーダー		
Mission：重・中等症者の応急処置・容体の安定化・搬送		副校長【 】 班長【 】 保健師【 】
担当	活動場所	役割
重症者処置エリアの医療職から1名	重症者処置エリア (保健室)	重症者処置エリアの指揮者
1. 統括医からアクションカードを受領。赤エリアの設置を指示 <input type="checkbox"/> 赤エリアリーダーの上司は統括医、部下は赤エリアの構成員とする <input type="checkbox"/> 各分科のリーダーは、各分科委員のシフトの作成や各分科との連絡調整を行うものとする 赤エリアリーダーとの兼務は可 <input type="checkbox"/> 裏面の【各エリア配置図】を参考に、以下の物品の搬出と設置を指示 重症者処置エリアは、次のブースを設置 ① トリアージ ② 待機（経過観察）場所 ③ 応急処置 ※レイアウトについては、必要に応じて、また使い勝手によって変更可		
必要物品		保管場所
医療資器材、医薬品、各種様式、マニュアル、担架、酸素ボンベ・減圧弁等、ピンプス、トリアージタグ、エリア別表示、マスク・ボンチョ、簡易ベッド		医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)
長机		第2視聴覚室 (3階北校舎)
パイプ椅子		体育館ステージ下
ホワイトボード、マーカー		保健室、プールサイド
2. 役割分担 <input type="checkbox"/> 応急処置、医師補助、トリアージ、待機場所のそれぞれの役割に人員を割り振る ① 医師-応急処置 ② 歯科医師-トリアージ (医師補助、待機場所) ③ 薬剤師-トリアージ (医師補助) ④ 看護師-医師補助 (待機場所) <input type="checkbox"/> トリアージ担当には、トリアージカード (赤エリア) を渡す 3. 自らの役割を果たしつつ、赤エリアを管理 <input type="checkbox"/> 重症患者への対応が最優先。赤エリアで人員が不足した場合には、人員の差配を統括医に申し出る <input type="checkbox"/> 来所した傷病者は、トリアージを受ける前に、避難拠点運営連絡会（地域住民）が、歩行の可否により振り分ける。トリアージでは、患者情報や既往症等の聞き取りを行い、タグを起票する <input type="checkbox"/> トリアージの報告を受け、応急手当および搬送の優先順位を決定 <input type="checkbox"/> 搬送が必要な傷病者の搬送調整依頼を統括医に行つ、または依頼を指示する (近隣に災害拠点病院および災害拠点連携医療機関がある場合、担架で搬送する場合も考えられる) <input type="checkbox"/> 統括医からの連絡を受け、適宜構成員に伝達 <input type="checkbox"/> 災害診療記録（カルテ）は、必ず作成すること <input type="checkbox"/> トリアージタグ1枚目（災害現場用）はトリアージ後に回収し、医療救護所本部で受付するため回収しやすい場所にまとめる。また、トリアージタグ本体は患者の装着したまま搬送されるため、代わりには搬送カードを作成し、医療救護所本部へ手渡す <input type="checkbox"/> 患者を搬送する際、トリアージタグは患者に装着したまま、搬送担当に引き継ぐ <input type="checkbox"/> レイアウトや運営方法等については、必要に応じて変更可能。ただし、その際は、班長や統括医、副校長と調整の上、変更すること <input type="checkbox"/> 感染症の流行している時期においては、誘導員を選任し、処置室が過度に密集しないよう入室を制限。また、定期的に換気を行う 4. 状況に応じて休憩を取る場合、代理に引き継ぎを行う <input type="checkbox"/> 各種職員の交代要員の把握 <input type="checkbox"/> 活動中の注意点や懸念点を伝達 <input type="checkbox"/> 統括医に代理のリーダーを報告 5. その他 <input type="checkbox"/> 不明瞭なことがあれば災対健康部および災害医療コーディネーターに指示を仰ぐこと		

医療救護所アクションカード (5/6) □ □ □ □ 中学校

副校長 []
班 長 []
保健師 []

Mission: 歩行の可否で傷病者をふるい分け

担当	活動場所	役割
避難地点運営連絡員 主は区・学校委員	東昇路口	傷病者の振り分け

1. 班長からアクションカードを受領。傷病者振り分け場所の設置を行う
 裏面の「各エリア配置図」を参考に、以下の物品の搬出と設置を行う

必要物品	保管場所
担架、マスク、手袋、シート	医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)
申いす	保健室
パイプ椅子	体育館ステージ下

2. 来所した傷病者を振り分ける
 歩行の可否により傷病者を2パターンに分け、案内・誘導する。
 自力歩行ができる方は、緑(軽症処置)エリアへ案内する。また、自力歩行ができない方については、赤(重症処置)エリアへ移送する。
 学校の敷地内および学校周辺で歩行ができない傷病者の情報があった場合、医師や区の職員を呼び、担架を持って現地へ行く。近くに医療機関がある場合は、その医療機関へ受入可否を確認し、受入ができない場合は、医療救護所へ搬送し、赤(重症処置)エリアへ引き継ぐ。

3. 状況に応じて休憩を取る場合、代理に引き継ぎを行う
 活動中の注意点や懸念点を伝達する。

4. その他
 不明瞭なことがあれば班長や統括医、災害健康部へ指示を仰ぐこと。

5. 担架について
 折りたんで格納されている。説明書を参照し組み立てること。慣れれば数分で組み立てられる。
 使用する際は、上にシート等を掛けること。
 患者を一人で運べる担架ではなく、二人以上で使用するもの。
 タイヤがついている方を足に乗せること。
 患者を乗せる際は、担架の中央に腰掛け、それから覆かせること。中央以外に腰掛けると、担架が傾き、落下する恐れがある。



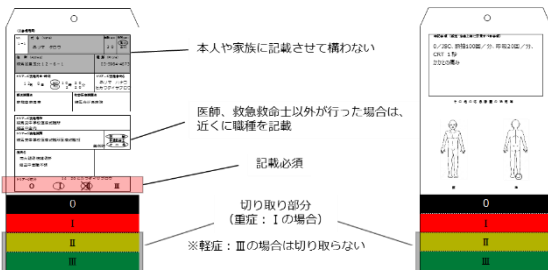
トリアージカード (緑エリア)

Mission: タッグ結果、手当優先順位の設定、容体急変患者の赤エリア引き渡し

担当	活動場所	役割
歯科医師または薬剤師 (、柔整師、看護師)	軽症者処置エリア (1階普通教室)	トリアージ

1. 緑(軽症処置)エリアリーダーからトリアージカードを受領
2. 来所した傷病者に対し、トリアージを行う
注1) 複数行記載できるように、名記入欄の上部で記載するなど配慮
注2) 誤記訂正は、二重線で行う
注3) 容体変化などで追記する場合は、二重線ではなく、同一欄の右側スペースに追記
 来場した傷病者を用意した椅子に座らせる
 2名ペアで順番にSTART法トリアージを行う(1名はトリアージ、1名はタッグ記入)
 タッグ1段目に傷病者の氏名(カタカナ)、年齢、性別を記入
 トリアージを受けていない傷病者には、自分でトリアージタッグの氏名、年齢、性別、住所、電話番号を記入してもらって構わない
 トリアージ実施日付・時刻およびトリアージ実施者氏名を記入
 トリアージ実施機関は「緑地区救護所」と記入。職種欄は、記載されている職種に○をつける。記載がない場合は、その他に○をし、それに職種(歯科医師、薬剤師等)を記入
 トリアージ区分(軽症はⅢ)は、必ず○印をつけること
無呼吸治療群(Ⅰ): 重症 応急処置後、主に「災害拠点病院」に搬送
待機治療群(Ⅱ): 中等症 応急処置後、主に「災害拠点連携医療機関」に搬送
無呼吸群(Ⅲ): 軽症 医療救護所で応急処置を行う
無呼吸群(Ⅳ) 医師が死亡診断した場合は、遗体安置所に搬送
 特記事項には、なぜ怪我をしたのか等その他得た情報についても記入
 トリアージ終了後、複写の1枚目(災害現場用)を剥がし、回収かごに入れる
 トリアージタッグは、原則、患者の右手首につけること(衣服には着けない。装着箇所を損傷している場合には、右手首→左手首→右足首→左足首→首の順)
 医師の診察場所へ案内
 次に待っている傷病者のトリアージを行う
 ※トリアージ後、重中等症者が含まれている場合、保健室へ移送
 ※トリアージの結果、歯科医療を要する場合、歯科医師が診察ブースまで案内し、そのまま診察と応急手当を行う

3. その他
 不明瞭なことがあれば災害健康部および災害医療コーディネーターより指示を仰ぐこと



医療救護所アクションカード (6/6) □ □ □ □ 中学校

副校長 []
班 長 []
保健師 []

医療救護所本部

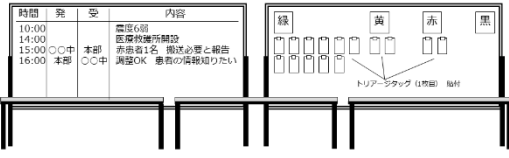
Mission: 傷病者の来所状況の把握、クロノロジー作成

担当	活動場所	役割
区、学校委員	医療救護所本部 (備蓄倉庫)	医療救護所本部機能

1. 班長からアクションカードを受領。医療救護所本部の設置を行う
 裏面の「各エリア配置図」を参考に、以下の物品の搬出と設置を行う
 下の図のように、以下の物品を配置する

必要物品	保管場所
マニュアル、ピス、各種帳票、ポールペン、エリア別表示	医療救護所倉庫 (備蓄倉庫)
長机	第2視聴覚室(3階北校舎)
パイプ椅子	体育館ステージ下
ホワイトボード、マーカー	保健室、ホールサイド
パーテーション	保健室

2. クロノロジーの作成を開始
 出来事や情報を時系列に沿って、ホワイトボードに書き出す
 傷病者数や職員参加数、地域の被災状況など情報は押さえておき、共有する



3. トリアージタッグを回収し、傷病者の来所状況を把握
 緑エリアと赤エリアにトリアージタッグの1枚目および本体(赤エリアは搬送者カード)を置くためかごや箱を用意
 適宜、トリアージタッグの1枚目および本体(赤エリアは搬送者カード)を回収
 トリアージの際に、剥がし取られるトリアージタッグの1枚目(災害現場用)の内容を傷病者受付一覧に転記し、傷病者の受付と把握する。転記が終了したトリアージタッグの1枚目は、ホワイトボード等に貼付
 手当てが完了した後、軽症者はトリアージタッグ本体(または搬送者カード)と、それぞれ転記した傷病者受付一覧を照合し、一覧の消込みをする。それにより、傷病者の手当ての状況を把握する
 消込みが完了したら、貼付されたトリアージタッグの1枚目とトリアージタッグ本体または搬送者カードをひとまとめにして保管する

4. 災害健康部から取得した医療機関情報を提示
 災害健康部から伝達された医療機関の搬出状況や稼働状況を提示する
 透析患者が訪ねてきた場合、透析医療機関の種類状況を案内する。医療機関に連絡する際、携帯電話等の所持している通信手段が使用できない場合は、避難地点の優先電話で代理通話をする

5. その他
 不明瞭なことがあれば災害健康部より指示を仰ぐこと

トリアージカード (赤エリア)

Mission: タッグ結果、手当・搬送優先順位の設定

担当	活動場所	役割
歯科医師または薬剤師 (、看護師)	重症者処置エリア (保健室)	トリアージ

1. 赤(重・中等症処置)エリアリーダーからトリアージカードを受領
2. 来所した傷病者に対し、トリアージを行う
注1) 複数行記載できるように、名記入欄の上部で記載するなど配慮
注2) 誤記訂正は、二重線で行う
注3) 容体変化などで追記する場合は、二重線ではなく、同一欄の右側スペースに追記
 移送された患者に対し、2名ペアで順番にSTART法トリアージ(裏面参照)を行う(1名はトリアージ、1名はタッグ記入)
 タッグ1段目に傷病者の氏名(カタカナ)、年齢、性別を記入
 ※患者本人、家族に氏名、年齢、性別、住所、電話番号を記入してもらっても構わない
 トリアージ実施日付・時刻およびトリアージ実施者氏名を記入
 トリアージ実施機関は「緑地区救護所」を記入。職種欄は、記載されている職種に○をつける。記載がない場合は、その他に○をし、それに職種(歯科医師、薬剤師等)を記入
 トリアージ区分は、必ず○印をつけること
無呼吸治療群(Ⅰ): 重症 応急処置後、主に「災害拠点病院」に搬送
待機治療群(Ⅱ): 中等症 応急処置後、主に「災害拠点連携医療機関」に搬送
無呼吸群(Ⅲ): 軽症 医療救護所で応急処置を行う
無呼吸群(Ⅳ) 医師が死亡診断した場合は、遗体安置所に搬送
 トリアージ区分と同じモザイク部分を残して切り離す
 特記事項には、なぜ怪我をしたのか等その他得た情報についても記入
 トリアージ終了後、複写の1枚目(災害現場用)を剥がし、回収かごに入れる
 トリアージタッグは、原則、患者の右手首につけること(衣服には着けない。装着箇所を損傷している場合には、右手首→左手首→右足首→左足首→首の順)
 患者を医師に引き渡す
 状況に応じて、また可能であれば、2次トリアージ(PAT法)を行う
 ※トリアージ後、軽症者が含まれている場合、1階普通教室に誘導

3. その他
 不明瞭なことがあれば災害健康部および災害医療コーディネーターより指示を仰ぐこと

